

大谷大学広報

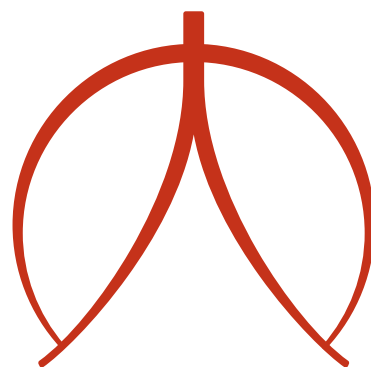
編集 大谷大学広報編集委員会

No.178

2009年1月9日

2008

冬



身近でエコ☆

2008年度課外活動 秋季大会結果

学問のしおり

私の学問・研究の遍歴とそれを
支えてくれたもの
築山 修道

谷大エリア散策 花彦

SQUARE

自分だけは大丈夫？
—まさか(魔坂)に遭遇した場合—
石橋 義秀

冬扇

今年の9月、バチカン美術館でラファエロの名画「アテネの学堂」を初めて見る機会を得た。画集では何度も見た絵であったが、本物の前に立つと、やはり深い感銘を覚えた。しかし、この部屋を出ようとした時、ドアの横の壁に刃物のようなもので大きな傷が複数付られていたのを見て、愕然とした。

最近、日本の学生がフィレンツェの世界遺産に落書きをしたことが、大きく報道された。しかし、イタ

リアの史跡で落書きをしているのは、日本人だけではないようである。実際、イタリアの各地で落書きを見た。バチカン美術館の痛々しい傷も、その一つであった。

落書きをする人は、いつの時代にもいるようである。ニューヨークのメトロポリタン美術館には、古代エジプトの神殿が移築されて展示されているが、その壁面にも1800年代に訪れたイギリス人観光客の名がナイフで刻み込まれてい

る。

なぜ人は落書きをするのであろう。それはやはり「ここに私はいる！」と世界にアピールするためであろう。その気持ちは分らないわけではないが、人類の遺産を傷つけるのではなく、人類の発展に貢献する形で名前を後世に残してもらいたいものである。

(ロバート F. ローズ)

身近でエコ☆

「あなたにとって、エコって？」……。エコバック、エコライフ、地球温暖化、自然保護と環境破壊、エネルギーと経済政策、大量生産と大量消費、ゴミ問題、そしてエコ人間などなど。

今号では、生活の身近な“エコ”を取りあげて語っていただきました。いろいろな視点から刺激的なことばが盛りだくさんです。皆さんも身近でエコを考えながら、エコとエゴの狭間に映る自分の姿に出会うかもしれませんね？



エコってなんだろう？

大塚 太一

今年の大谷大学学園祭（紫明祭）では初めて環境問題に取り組んだ。具体的には、ゴミの分別活動、土に還るエコ容器の使用、廃油で作られたハンドソープの導入である。

エコ活動に取り組むきっかけとなったのは、京都の大学が学園祭について話し合う会議でのことだった。他の学園祭ではゴミの分別、リサイクル等の様々なエコ活動を数年前から行っているのに、当学園祭ではまったくそういったことを行っていなかったのである。「恥ずかしい」それが会議に出席した私の最初に思ったことであった。これだけ環境問題が騒がれているにもかかわらず、前年度までの学園祭実行委員会は何もしていなかったことに憤りを感じた。学園祭は学生の発表の場であるし、一年に一度のお祭りである。だが、ただ単に「楽しく面白かった」というものではいけないと思う。その陰にはたくさんのゴミの山が築かれているからだ。分別をしないとそれは「廃棄物」である。しかし分別をすることで「ゴミ」は新しいものに生まれ変わるチャンスを得るのだ。

学園祭というものは毎年、その時々の社会的ニーズに合わせて実行していかなくてはいけないと思う。学園祭だから、学生だからこそできること、またしなければいけないことがあるはずである。

学園祭では、ゴミを7つに分別し、学内にエコステーションと称したゴミ箱を4カ所設置し、そこにそれぞれ2～3人を配置して来客者へのゴミの分別指導を行った。来客の方々は進んで分別をしてくださり、上手くいっているように見えた。だが、中には心無い人たちによって分別のなされていないゴミ袋やポイ捨てなども見つかри、エコ活動の厳しさを身をもって知った。ある一方の人間だけが活動してもそれは何の意味もなさない。そこにいる全ての人たちがお互いに協力していくことで初めてエコ活動が行えるのである。

幸い今年は何れのかいあって、去年と比べ3～4割程度ゴミの削減をすることができた。しかしまだ改善の余地は多数ある。事前の連絡、声掛けによってさらに削減は可能だ。来年度に向けて一つ宿題を残す結果とはなったが、基本



エコステーション

は身についたと思う。

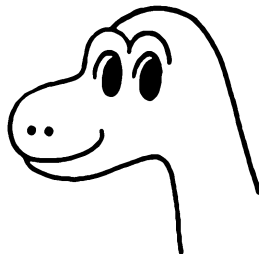
最後に、こんな問題が一つ。「環境に配慮した新しいものを買えばエコになりそうだが、一方で古いものが捨てられている」これは本当にエコなのか？ みなさんに今一度、考えていただきたいことである。

（大谷大学学園祭実行委員会 展示・模擬店局）
おおつか たいち
史学科 第3学年



疑念

沙加戸 弘



「毒」も「薬」も、人に対する働きに付された名称である。決して「物」そのものの名ではない。芥子汁から精製されたモルヒネも、爆発物であるニトログリセリンも、「薬局」にはある。

同じように、「害虫」・「益鳥」という呼称も、対象への働きの程度による。たとえば木の葉を食する虫が下鴨の森に数万いたとしても、それは害虫とは呼ばない。否、いてくれなければ困るのである。小鳥がそれを啄み、蛇が小鳥の卵を奪い、大鳥が蛇を捕食して食物連鎖が成立する。森における食害は、単種の虫が同時に大量に発生した時におこるものである。

その意味でなら、現在人類は地球の害虫であるといえよう。従って人類には当然、遠い昔縄文の人々がとっていたような生活様式、自然の中にとけこみ、自然の余り物を感謝と共に使い、あとは元に戻し、自然の浄化力を尊ぶ、という様式が要求されるが、短期間で自然に戻らぬものが増えすぎ、人類が増えすぎた現在では、夢物語に近い。

そのような中で、万人にわかりやすい宣伝文句だけが一人歩きしている。CO₂が多くなって地球が温暖化している、というのである。本当だろうか。

現在の地球のCO₂の平均濃度は、0.039% (390ppm) である。ところが2、3億年前の石炭期の時代は3000ppmあった、と計算されている。CO₂が増えると植物が繁茂する。食糧難が解消でき、これは我々の薬となろう。

地球が温暖化しているという。

本当だろうか。たしかに地表の温度は上っている。が、これは地面をコンクリートで固めたことによるヒートアイランド現象である。一方、米航空宇宙局が打ち上げた気象衛星NOAAの地上1000メートル、5000メートルの観測データは、ここ30年で0.1度の上昇に留まっている。さらに最近1年半は、気温は下がり続けている。こちらの方が人類にとっては毒となろう。

本当に地球にCO₂が増え、温暖化しているというのが事実なら、人類にとって慶賀すべきことである。しかし、一部の企業がより大きな利潤を求めて、地球規模の運動を起こした、ということなら、これは禍々しきことである。

事実で嘘をつくことは易い。不都合な事実は伝えなければよいのである。が、利潤のために真実が隠されるということは、不都合以外の何物でもない。

(さかど ひろむ)
(教授 国文学)

C O N T E N T S

- p. 2…身近でエコ☆
- p. 7…CAMPUS☆TOPICS
- p.20…紫明祭を終えて
「1は全てのために、
全ては1のために」
- p.22…2008年度 秋季大会結果
- p.25…学問のしおり
- p.26…Keiji☆Ban
- p.34…谷大エリア散策
- p.35…学生相談室から
- p.36…研究室だより
- p.37…学会だより
- p.38…入試結果
- p.40…大谷中学・高等学校
九州大谷短期大学からのお知らせ
- p.41…TANIDAI FRONT
- p.43…2009年度学年暦
- p.44…SQUARE

表紙のことば

幼教フェスティバルの今年度のテーマは「絆～出会えた奇跡・共に見た夢」

企画、演出、全てみんなで創り上げました発表に至るまでの日々で、協力・協調の大切さを学びました

ミュージカルや大合唱を通して人と人との出会い、絆の大切さ、温かさが伝わりみなさんのハートがあたたまりますように

冬扇

詳しくは「夏炉冬扇」という。夏の炉や冬の扇のように役にたつたぬこの意味に用いる。ここでは役にたつたない次元をこえて一筋の道に生きる精神をあらわす。

2009年1月9日発行
発行 大谷大学企画課
編集 大谷大学広報編集委員会
〒603-8143
京都市北区小山上総町 大谷大学企画課内
電話 (075) 411-8115
FAX (075) 411-8149



環境先進国ドイツから学ぶべきこと

西村 舞

今日、ニュースや新聞等で環境問題が大きく取りざたされている。しかし、本当に私たちは環境問題に対して関心を持っているのだろうか。他国の人々は、環境問題に対しどのような関心を持ち、対策を行っているのか、という疑問がわいた。環境問題と言えばドイツだ。ドイツ文化を専攻している私にとってドイツはとても身近な存在である。そこで、この国の環境問題について考えれば、何かヒントを得られるかもしれない。と私は考えた。

ドイツは、「環境先進国」と言われるように、日本よりも環境問題に対する取り組みが積極的に行われている。そして、国民一人一人の意識が非常に高いようだ。具体的には、スーパーマーケットへ行くと、人びとは裸で並べられている野菜や果物を秤に乗せ、必要な分だけを買う。この秤売りは肉や魚介類でも同様である。また、レジ袋が有料であるため、多くの人々は木綿の布製の買い物袋を持参する。(この買い物袋は、かわいいだけでなく、丈夫なのである。) 私が驚いたのは、こうした生活面

だけでなく、学校の授業でも低学年から環境・生態系のカリキュラムを取り入れているといったことである。それではなぜこのようになったのか。ドイツの環境対策の背景には、1970年代のヨーロッパ規模での環境汚染問題、ウクライナで起こったチェルノブイリの原発事故がある。すなわち、環境問題は政治的テーマと直接関係していたのである。(ちなみに、ドイツ人は政治に対する関心も非常に高い。)

日本でも最近ようやくスーパーマーケットでレジ袋が有料化された。最初は苦情を言っていた人もようやくこのシステムに慣れてきたようだ。こうした進歩がある一方で、未だに肉、魚介類や野菜、果物等の様々な商品にはトレイ付きのラップや過剰包装が施されているのが目立つ。また、私たちは「家庭から出るゴミは、ゴミ収集車が持っていってくれるから・・・」と考えがちで、大量消費に慣れすぎている。環境問題に対する意識がドイツと比べて低いように思われるのは、それも一因なのではないだろうか。日本もドイツのよう



エコバック

に生活面や教育面から環境問題に取り組み、今からでもできるちょっとしたエコに取り組むことで、環境問題に対する国民の意識は高まるのではないかと思う。また、経済的大恐慌と呼ばれている昨今、最小限の暮らしというものを見直す良い時期なのではないか、とも思う。

いずれにせよ、他の人が環境問題に関心を持つとか、持たないということに左右されてはならないだろう。私たちはこの問題を自分のこととして受け入れなければならないのだ、ということを私はドイツから学んだ。

(にしむら まい)
国際文化学科 第2学年



あえてのエコ批判

柿崎 摩衣子

「エコ」という言葉がずいぶん定着したように思う。エコバック、エコカー、エコ家電、エコライフ…これでもか! というぐらいにエコのつくものが増えた。「エコ」

という言葉がついているだけで、「環境に良いもの」という印象を受ける。そのような商品を使い、生活している自分もまた「ちょっと良いことしているな」と感じる。

世間でも「生活の中でできることから環境に良いことをしよう」ということが盛んに言われ、使わない電化製品のコンセントは抜いておく、買い物にはエコバックを持

参する、外で食べる時はマイ箸を持っていく、このようなエコライフを「環境にも良いし、お金の節約にもなるから」と行っている人も多いだろう。

しかし本当に、こんなにもエコとは良いことづくしなのだろうか。以前からエコのマイナスな面はないものかと気になっていたので、この機会に調べてみた。すると「エコでお金の節約になる」と思っていたことが、実は「環境を壊し、お金をとられる」行為だという意見があった。

例えば、「レジ袋を使うよりエコバックを使ったほうが良い」という先入観は、必ずしも正しいわけではない。レジ袋が有料化されたことで、バックを持たずに買い物に行けばレジ袋代を払わなければならないなくなった。スーパーでも

らえるレジ袋でゴミをすてることができれば、わざわざお金を出して「専用ゴミ袋」や「エコバック」を買う必要もない。スーパーやゴミ袋を作るメーカー、エコバックを作るメーカーは、環境問題やエコ生活などの流行を利用して金儲けを考え出したのである。石油の節約のためにレジ袋を削減しても、専用ゴミ袋やエコバックの生産で石油が使われているし、CO₂は減ったどころか増えているというのが現状だ。また、レジ袋は「使い捨て」という悪い印象を持たれがちだが、レジ袋は買い物以外にもゴミ袋としてなど、使い道はいろいろあるので使い捨てだとは言いつつ切れない。しかもレジ袋は「使えない石油」でつくられるので、燃やして捨ててしまうしかなかった成分を有効利用した究極の「エコ



製品」だといえるのである。

エコバック一つ例にとっても、こんなにも指摘できるところがある。エコが抱えている矛盾や問題点は、案外表に出てこないだけでたくさんあるのだ。もっとエコについて様々な角度からとらえ、本当に環境に良い生活とは何なのかを考えてみるのも良いかもしれない。

（かきざき まいこ）
国際文化学科 第2学年



エコキャンパス構想

山崎 学

今回のテーマは「身近でエコ☆」である。学生にとって最も身近な場所である大学のキャンパスでこれまでどのような取り組みがなされてきたか、現状を紹介するとともに、今後の課題についてまとめてみたい。

これまでの取り組み

1. 古紙の分別回収：各事務所、廊下に分別BOX設置

15年ほど前から各事務室を中心に上質紙（コピー用紙）、雑誌やチラシ、新聞に分別し古紙の再利用に取り組んできた。現在は廊下や総合研究室、コピー機の周辺にも分別用の3段ボックスを設置している。

最近では事務室でシュレッダーされた紙についても再利用に

まわしている。

2. 学内食堂の割り箸の廃止

この取組みも実施してすでに10年を超え、学内食堂の青い箸も定着したといえる。学内食堂は1日1000人から1300人の利用があり、年間約150日営業をしている。その10年分の割り箸＝木を節約したこととなる。

3. 非使用教室などの消灯

授業終了後などに警備員さんや技術職員さんに施設の点検を兼ねて巡回してもらい、照明やエアコンがついている非使用教室の電気を切ってもらっている。授業終了後、最後に退出する人が教室の電気を切ることを習慣化したいと考えている。

また、大教室で一人自習して

いる人を見かけることがあるが、自習は研究室や図書館でお願いしたい。小さなエコが大きなエコにつながると思っご協力いただきたい。

4. 行政との連携

京都市ごみ減量推進会議の会員としての活動、京都市総合企画局地球温暖化対策室主催の研修会に施設担当の職員を派遣するなど、行政とも連携してエコ活動に取り組んでいる。

これまで上記のような取り組みを行ってきたが、ここ10年施設に冷暖房を完備し、教室のAV設備も充実させてきた。これにより、エコとは逆に大学のエネルギー消費量は増加する一方である。今年5

月には近畿経済産業局から第二種エネルギー管理指定工場に指定され、大学が事業所としてエネルギー使用量を一定基準以下に抑えることを課せられることとなった。

大学として、省エネ（エコ）に今後如何に取り組むかを考えていたところ、今年度の学園祭で学生の皆さんが自らエコに取り組みました。これは大学としてエコを考え、実行する上で大変よい機会となっ

たのではないかと思う。この取り組みを流行や1回のキャンペーンで終わらせることなく、エコキャンパスの実現に向けた取り組みを、教員、職員、学生等の大学を構成する全ての人たちが考え、関わり、行動できる環境作りの第一歩にしたいと考えているところである。

（やまざき まなぶ）
（総務課 職員）



エコポスター



「京都議定書誕生のまち・京都」。今、「DO YOU KYOTO?」は「環境にいいことしていますか?」という意味で世界中で使われています。京都市では、京都議定書が発効した2月16日にちなみ、毎月16日を「DO YOU KYOTO?デー」と定め、ナイトダウンや京灯ダイナーの取組を進めています。「DO YOU KYOTO?」を合言葉に、一人一人がエコ活動を実践し、環境にいい取組の輪を広げていきましょう。



人事

退職

依願退職

[事務職員]

鈴木 美央 (総務部)

上林 直子 (教育研究支援部)

2008年12月31日付 (各通)

阿部利洋講師が「日本社会学会第7回奨励賞」を受賞

本学の阿部利洋講師が日本社会学会第7回奨励賞を受賞されました。今回の受賞の理由は、阿部講師の著作『紛争後社会と向き合う―南アフリカ真実和解委員会』(京都大学学術出版会)が高く評価され、「著作の部」奨励賞受賞作品として決定されたためです。同書では、平和構築の新たな潮流として注目を集める真実和解委員会の活動が包括的に考察されています。

とりわけ社会的な和解に関する独創的な分析は、同時代的な紛争の理解を深めるにあたり大きく貢献するものである、という選評をいただきました。

授賞式は11月23日(日)に東北大学で開催された第81回日本社会学会大会総会において行われました。授賞式の後の懇親会にて、受賞者スピーチが行われました。

(企画課)



著書を手にする阿部利洋講師

本学学生が小説を出版

本学の社会学科第4学年の木村恵子(ペンネーム:びれっじ小池)さんが2009年1月、文芸社ビジュアルアートから小説『鈴木家長女の恋』を出版されました。この作品は大垣書店本店にて500円で販売されています。

木村さんは本著書を執筆された第2～3学年の間、自分のために過ごせた日がないほどに大変忙しい生活を送っておられ、「一度く

らい、自分のために時間を使おう」と、家事とアルバイトの合間を縫って執筆されました。この作品は木村さんの私生活に足りないものを充足する内容となっており、タイトルの通り恋愛を題材としています。

小説を出版された木村さんは「薄い本ですが、気持ちだけはたくさん込めました。励ましてくれた友人や、手助けしてくださった

方々のおかげで陽の目を見ることができた作品です。小説を読んでも下さる方が、少しでも楽しんでいただければ幸いです」と話してくれました。

(企画課)



本学卒業生 津村記久子さん第30回野間文芸新人賞を受賞

本学文学部国際文化学科卒業生津村記久子(本名:津村紀久子)さんが、著書『ミュージック・プレス・ユー!!』(角川書店)で第30回野間文芸新人賞を受賞され、贈呈式が12月17日(水)帝国ホテルにて行われました。

『ミュージック・プレス・ユ

ー!!』は「音楽について考えることは、自分の人生について考えることよりずっと大事」な高校三年生のアザミの1年間、焦燥感と疾走感にみちあふれた至極まっとうにかけがえのない日々を描いた作品で、新たな青春小説の金字塔と評されています。

津村さんは、2005年『マンイーター』(筑摩書房/単行本刊行時に『君は永遠にそいつらより若い』と改題)で第21回太宰治賞を受賞され(『大谷大学広報』2005-夏号参照)、最近2回の芥川賞で連続して候補に選ばれています。

(企画課)

2008年度 大谷大学教育後援会文芸奨励賞 「いま伝えたいこと」50字表現 入賞作品発表

今年度、大谷大学教育後援会「文芸奨励賞」の入賞作品を発表します。この賞は、在学生を対象に文芸作品を募集し、言葉による表現意欲を奨励することを目的にしています。

今年度は「いま伝えたいこと」をテーマに50字以内で表現していただきました。今回、167名の方から応募が寄せられ、選考の結果、次の方々が入賞されました。

表彰式は、12月2日(火)「尋源講堂」において行われました。

最優秀賞 該当者なし

優秀賞	菊池 洗人 (史学科 第2学年)	笹井 雄太 (哲学科 第2学年)
佳作	青山 真之 (哲学科 第1学年)	安齋 知枝 (哲学科 第3学年)
	泉谷 京子 (哲学科 第1学年)	北風 遼 (哲学科 第4学年)
	清水 浩基 (社会学科 第1学年)	辻井 昌代 (歴史学科 第1学年)
	藤原 友則 (修士・真宗学専攻 第2学年)	

〔最優秀賞〕 該当者なし

〔優秀賞〕

菊池 洗人

(文2・史)

僕は漢文が読みたくて大学へ来た。
だから僕は漢文を読む。
好きな事をやる理由は単純なんだと思った。

〔優秀賞〕

笹井 雄太

(文2・哲)

昔は嫌いだったものが
いつのまにか好きになっていた

どうにもできないことだから
今の気持ちは大切なんだ

〔佳作〕

青山 真之

(文1・哲)

恥ずかしくて声をかけられない僕に
声をかけてくれた。
君の声がなかったら
今も1人ぼっちだろう
ありがとう。

〔佳作〕

安齋 知枝

(文3・哲)

お父さんお母さん
この間は遊びに来てくれて
ありがとう
あと一年ちょっと悔いのないよう
私、頑張る。

〔佳作〕

泉谷 京子

(文1・哲)

ありがとう
100万回言っても足りんわ
出会えてよかった
はいはいってまた流されそうやけど
ほんま、大好き。

〔佳作〕

北風 遼

(文4・哲)

この夏、内定をもらえた。

難しいと言われた希望の「ものづくり」
の技術職。

この機会、絶対に逃したくない。

[佳 作]

清 水 浩 基

(文1・社)

わからない。
 ずっとわからないままだった。
 そして、たぶんこれからも。
 だって、そのほうがおもしろい。

[佳 作]

辻 井 昌 代

(文1・歴)

「さよなら」を言えるまでどれだけ
 時間がかかったことだろう。今なら
 「ありがとう」が言えるでしょう。

[佳 作]

藤 原 友 則

(院修2・真)

生きることに意味を求めなく
 ても生まれてきたことに意味
 はあるんだよ。

文芸奨励賞の願い

人間は、「文字」の発明により、時空を超えて互いの意志を伝えることが可能になり、また数多くの先達の優れた文化的業績が書物として残されてきました。

「文字」には、感情や思いがあり、温もりや重みを感じられます。電子メール全盛期の現代社会ですが、近年、地方自治体や教育現場でも、「短文」や「絵手紙」が自己表現の場として、また豊かな感

情表現の場として、その取り組みが盛んになってきました。そこには薄れつつある家族関係・人間関係の絆を取り戻したい、再構築したいという願いが感じられます。

さて、大谷大学教育後援会学生支援事業の一つとして、今年も「いま伝えたいこと」をテーマに学生諸君に作品の投稿をお願いしました。昨年を上回る167編の応募がありました。それぞれの作

大谷大学教育後援会会長 今川 雅照

品に、個々の人生観や人間観が凝縮されており、応募作のいずれもが力作揃いで、各自の思いが、温もりが十分に伝えられる作品だったと思います。最優秀作は今年も選出されませんでした。優秀作2編、佳作7篇が選出されました。

今回応募されなかった方々も、友に、家族に、そして自分自身に「いま伝えたいこと」、大切にしてください。

文芸奨励賞「いま伝えたいこと」講評

大谷大学教育後援会文芸奨励賞は、今年度で3年目の企画になりますが、今回は過去最多、167名の方から応募がありました。この賞の存在が、少しずつ先生方や学生諸君に浸透してきたということでしょう。

選考は、教育後援会会長と学内3名の先生方をお願いしました。その結果、優秀賞2点、佳作7点選ばれました。多数の応募がありましたので、各選考委員の先生方には一気に全作品に眼を通していただき、特に強く印象に残ったものをまずは候補作として提示していただきました。その後、提出された作品を全員で吟味し、各賞を決定していきました。

167もの中で眼にとまる作品とは、やはりストレートに心に響く力をもった言葉ということになるのでしょうか。あまりに難解なものや逆に稚拙なもの、また、誰に対して何を伝えているのかよくわからないものは、早い段階で自然と淘汰されてしまいました。

優秀賞の菊池さんの作品は、読んでおわりの通り、真っ直ぐ心に入ってきた作品です。力強くも淡々とした言葉に、彼が言わんとする「単純」さが際立っています。それに比べて笹井さんの作品は、少しひねりが加えられたものだと言えます。菊池さんの作品が一度で心に届くとするなら、笹井さんの作品は二度読ませる力を持った

学生部長 木越 康

作品と言えるでしょう。タイプの違った2作品が、優秀賞として選ばれました。

その他の入選作についての講評は割愛いたしますが、それぞれ読むものに何かを訴えかける力を持った作品であると言えます。

昨年に引き続き、残念ながら「最優秀賞」は該当者なしということになりました。それは、今回選出された受賞作品が最優秀賞としてふさわしくないということよりも、他の作品と比較して突出したものを感じられなかったということになるのでしょうか。来年は、多くのなかにもキラリと光る、際立つ作品の応募が期待されます。

国文学会大会を開催

今年度の大谷大学国文学会大会は、10月18日(土)、尋源講堂で開催されました。

先師法要厳修の後、「法語文学の回顧と展望—多屋頼俊先生の学問を中心に—」との講題で、本学教授・石橋義秀先生による公開講演を催しました。

先生は、ともすれば従来注目されなかったような文献資料の紹介ばかりに傾きがちな近年の仏教文学研究の動向に対して穏やかに注意を促しながら、本学国文学の伝統である仏教文学において重要な

位置を占める法語文学を読み直し再検討するという地道な研究姿勢の重要性について、ご自身の学問の歩み、とりわけ恩師である多屋頼俊先生より受け継ぎ、展開してこられた学問的立場にふれつつ、丁寧にやさしく聴衆に語りかけて下さいました。限られた時間のため、論点を①歎異抄、②親鸞聖人御消息、③祖師一言法談において説かれた具体的な今日的課題にしぼった話は、聴衆に学問の深淵を覗かせる意義深い内容でした。

なお、例年は外部講師を招くと

ころ、石橋先生にご講演いただいたのは、先生が今年度を以て御定年を迎えられるためです。参加者一同、仏教文学の本質と本学の学的伝統に思いを致し、先生の学恩に深く感謝致したことであります。
(国文学会)



石橋義秀教授

大谷学会研究発表会を開催

10月21日(火)、響流館メディアホールを会場として、大谷学会研究発表会を開催いたしました。発表30分、質疑応答10分という限られた時間内の研究発表でしたが、前もって用意された資料に基づきながら、4名の本学教員が日頃の研究の一端を発表されました。また、学外からの参加者も多く、活発な質疑応答がなされました。今回の発表内容は、例年通り『大谷学報』

に要旨または論文として掲載される予定です。なお、題目・発表者は次の通りでした。

ツォンカバにおける概念的認識の構造

福田 洋一 教授

〈底〉から〈的〉への交代状況からわかること

渡部 洋 准教授

言語発達における声と意味

矢野のり子 教授

漢訳〈無量寿経〉の思想構造

—特に三毒五悪段を巡って—

山田 恵文 講師

(大谷学会)



渡部洋准教授

真宗学会大会を開催

10月23日(木)、尋源講堂を会場として、大谷大学真宗学会大会が開催されました。この大会は、学内外の2名の講師による講演会で、1962年(昭和37年)から開催されています。

今年度はまず、藤嶽明信本学教授による「本願念仏の一道」、続いて細谷昌志大阪大学名誉教授による「「逆対応」の論理と「逆超越」—ケルケゴールの『死にい

たる病』をめぐって—」の講演が行われました。

両氏の熱のこもった講演に満堂の聴衆も熱心に聞き入っていました。



藤嶽明信教授

た。なお、この講演については、後に学会誌『親鸞教学』に掲載されます。

(真宗学会)



細谷昌志氏

幼児教育保育科学生、大津市でオペレッタを公演

10月25日(土)、大津市仰木の里市民センターの子育て支援講座として、本学の幼児教育保育科学生有志によるオペレッタ「ピーターパン」「ありとぎりぎりす」が公演されました。

また10月26日(日)には、瀬田公民館の大津子どもの広場事業として、オペレッタ「金のがちょう」が公演されました。

仰木の里・瀬田いずれの地域でも子育て世代が増加しており、子育てのあり方を考えて支援していく活動が盛んです。本学の豊住征子教授と幼児教育保育科の有志学生たちはそんな地域の期待に応えるために、オペレッタや合唱、リ

ズム遊びを企画し、両地域合わせて100名を超える参加者の方々に大変楽しんでいただきました。

イベントに参加した幼児教育保育科の田中隆行さん(第2学年)は「わかりやすくてももしろい劇にしたいと思い、見ていて楽しい動きや、おもしろい演じ方をみんなで何度も話し合って取り入れてきました。そのため、練習から楽



10月25日：ピーターパン

しんで取り組むことができ、当日もたくさん子どもたちと楽しい時間を過ごすことができました。」と話してくれました。

最後に子どもたちは、学生が用意したお土産をもらって帰途につきました。幼児教育保育科のみなさん、ありがとうございました。

(教育研究支援課)



10月26日：金のがちょう

『京都の大学「学び」フォーラム2008』を本学にて開催

10月25日(土)、財団法人大学コンソーシアム京都が主催する『京都の大学「学び」フォーラム2008』が、本学を会場として開催されました。

この企画は、高校生活における「学習意欲の向上」や「大学への入学目的の明確化」の機会を創出し、高等学校と大学の「学び」をスムーズに接続することを目的としており、キャリアにおける高大連携の取り組みとして、今年は滋賀、福知山、京都の3会場におい

て開催されました。

当日は、京都・滋賀・大阪を中心に、2,117名の高校生・保護者・高校の先生方が来学され、模擬講義や体験型講座に熱心に参加していました。本学からは、「子どもの教育はどう変わってきたか」と題して関口敏美教授が模擬授業を開講しました。また、「体験型講座」では宮崎健司教授、平野寿則講師による「博物館のお仕事体験」が開講され、多くの高校生が受講しました。

また、休憩時間にはサンクンガーデン特設ステージにおいて、高校生や京都学生祭典実行委員会による創作おどりが披露され、イベントを盛り上げました。

(高大連携推進室)



模擬授業を受講する高校生

“人権問題を共に考えよう” 全学学習会を開催

去る10月29日(水)、今年度第2回目の“人権問題を共に考えよう”全学学習会(主催：人権センター、会場：講堂)が開催されました。人権教育推進委員会の第2部会(民族差別問題)が中心となり、テーマの設定・講師の決定と依頼・準備と実施に至るまでを担当して開催されました。

今回の学習会は、映画監督の井

筒和幸氏を講師にお招きして「民族の壁どついたる！—在日コリアンとのつき合い方—」というテーマのもと、寺林脩教授(第2部会長)との対談形式で進められるというユニークな形で行われました。

井筒監督の代表作の1つである映画「パッチギ!」について、撮影に至る背景、テーマに込められた思い、主題歌「イムジン河」に

まつわるエピソード等、寺林教授の進行により次々にお話しが展開



井筒和幸氏

され、あっという間に2時間が経過しました。作品を通して「民族の壁」について問いかけられる井

筒監督の言葉から、約340名の参加者に熱いメッセージが伝わってくると同時に、今回のテーマにつ

いて新たに向き合う一つの機会となりました。

(人権センター)

映画「いのちの作法 — 沢内『生命行政』を継ぐ者たち —」の上映

12月3日(木)、「いのちの作法— 沢内『生命行政』を継ぐ者たち—」の上映会を講堂において行いました。(主催：人権センター)

映画の舞台となった岩手県旧沢内村(現西和賀町)は、老人医療費無料化(1960~61年)や、乳幼児死亡率ゼロの達成(1962年)で名高く、「生命尊重の理念」が現在もこの地域に発展的に受け継がれており、住民と行政の工夫と努力で町をあげての福祉社会づくりが進められています。

この映画はその記録であり、当時の深沢^{まお}晟雄村長が、「生命尊重こそが政治の理念」と宣言し、豪

雪と貧困の村で、多病多死との闘いの先頭に立たれ、その「遺志」を受け継ぐ地域の人々の姿が描かれています。その中で、現在、真宗大谷派の碧祥寺を守りながら、特別養護老人ホーム「光寿苑」を切り盛りされている太田宣承氏の活動が紹介されていますが、氏は本学の卒業生であり、その祖父にあたる祖電氏は、元村長を務められました。

老人や障害者、そして虐待を受けた子どもたちと向き合い、心温まる人々の生の姿から、今の日本社会に忘れられている「生命の尊重とは何か」、真の意味での「福

祉とは何か」ということを問いかける作品でした。

参加者は約150名で、学生の参加も多く、感想文の中にも多くの共感の聲が寄せられました。

(人権センター)



教職員を対象とする人権問題学習会を開催

12月10日(木)、「教職員を対象とする人権問題学習会」を1200教室において開催致しました。(主催：人権センター)

この学習会はここ数年、人権教育推進委員会の各部会による研究発表の形で行っており、本年は第1部会(部落差別問題部会)と第3部会(障害者差別問題部会)からの発表を行いました。

第1部会からは、「大谷大学における部落問題学習について—現状と課題—」をテーマに、一楽部会長をはじめ、各委員が分担する形での報告となりました。テキストの内容分析や、クラス別学習会

の取り組み状況、また、全学学習会等の経緯や現状についての調査から、本学における人権問題学習の課題について提示があり、学内で共有し今後の検討課題として取り組む必要性について訴えました。

第3部会からは、「大谷大学における障害者対応について—視覚障害者の誘導方法を学ぶ—」をテーマに、桂華部会長による主旨説明の後、委員より学内設備(障害者への配慮の視点から)についての現状報告と、視覚障害者の誘導法についての発表がありました。また、学習会終了後に、体験を通して障害への理解を深める目的で、

アイマスクを着用しての歩行、車椅子でのスロープ昇降を参加者が体験しました。学生の参加も若干名あり、今回の学習会を通して改めて人権問題を見つめ直す機会となりました。

(人権センター)



車椅子でのスロープ昇降の様子

西洋哲学倫理学会秋季公開講演会を開催

去る10月30日(木)、尋源講堂において、慶應義塾大学文学部教授の中川純男氏を講師として迎えて、西洋哲学倫理学会秋季公開講演会が開催されました。

中川先生は、「わたしの記憶—アウグスティヌス『告白』より」と題した講演のなかで、中世のキリスト者、アウグスティヌスの『告白』をテキストとして、アウグスティヌスの〈自己〉についての考え方を、記憶との関係のなかで考察されました。アウグスティ

ヌスの神は、人間の内面に働きかけて人の心を形づくる神です。この意味で、アウグスティヌスにとって大切なことは、見せかけのキリスト者になることではなく、「わたしの記憶」のなかで「わたし(自己)」と出会い、その形成過程を追うことを介して神と出会うことなのです。

講演は、アウグスティヌスが生きた時代背景の説明からはじまって、専門用語をほとんど使用せずにアウグスティヌスの思想の核心

へと聴講者を案内するものであり、活発な質疑応答を交え、盛況となりました。

(西洋哲学倫理学会)



中川純男氏

京都府立鴨沂高等学校との高大連携事業を実施

高大連携事業として、京都府立鴨沂高等学校を会場に、10月30日(木)、本学のモニカ・ベアテ教授による伝統芸能である「能の身体表現」についての授業を、また10月31日(金)には、本学の井上摩紀准教授が「体でかかわる運動遊び」をテーマに特別授業を実施しました。

鴨沂高等学校では、総合的な学習の時間「総合古典」、選択科目「専門家庭」を開講しており、演劇などに関心のある生徒や保育に関心のある生徒が受講しています。今回の特別授業では、日本の伝統芸能である能を取り上げたことから国語科「古典」との合同授業となり、10名の高校生が受講しました。また「体でかかわる運動遊び」では、30名弱の生徒たちが、保育の現場で求められる「手遊び」や

「ゲーム」を体験しました。“体を触れ合うコミュニケーション”が子どもたちと接する際に如何に重要となるかを楽しみながら学びました。

「能の身体表現」の授業に参加した生徒は「『井筒』は読んだことがなかったので、どんな話なのだろうと思いながら聞いていると、現代にもありそうな恋愛話でとても親近感もてました。自分たちの体で表現する、ということもあ

ってさらにわかりやすかったです。聞いたことはあるけれど、実際見たこともない能をするのはとても不安でしたが、やってみると楽しくて一つ一つの動きに意味があることに驚きました。短い時間だったけれど、実際に扇や体の動きで物語を表現することを体験して奥の深いものだと思いました」と感想を述べられました。

(企画課)



扇を持つての演舞



集団遊びの様子

京都明德高等学校との高大連携事業を実施

11月5日(水)~11月7日(金)、京都明德高等学校との高大連携事業の取り組みとして、スカラシップ生(11名)の受け入れとインターンシップ生(1名)の受け入れを行いました。

スカラシップとは、大学の授業

体験を行うプログラムのことで、本学での学びの基礎となる「人間学」の授業を全員で受講したほか、将来の進路希望にあわせて、社会科学、歴史学科、文学科、国際文化学科、幼児教育保育科の授業を受講しました。

インターンシップでは、商業科2年生の川邊将司さんが博物館業務の就業体験を行いました。博物館では、文化財の取り扱い実習(典籍・古文書・刀・拓本)や、収蔵庫内の環境調査(パナプレート、温湿度計交換)や冬季企画展の展

示準備などを行いました。

今回のインターンシップ体験について、川邊さんは「私は歴史が好きで今回の体験をとっても楽しみにしていました。私はこのインターンシップで学芸員の仕事をさせていただいて、文化財の重要性について学ぶことができました。私たちが文化財を将来に残すことは昔を知ることができ、とても有意義

な学習ができると思います。学芸員という仕事は決して表に出る仕事ではありませんが、とても意義のある仕事だと思いました。大学への進学を希望しておりますが、構内にこのような博物館のある大学はとても魅力的で学んでみたいと思いました。」と感想を述べられました。

(企画課)



刀の取扱い実習の様子

第13回大谷大学同窓会ホームカミングデーを開催

学園祭（紫明祭）期間中の11月8日(土)に同窓会が主催する毎年慣例の「ホームカミングデー」を開催いたしました。退職された先生や専任教員のご出席のもと、全国より約160名の同窓生やご家族などの参加がありました。

第I部「谷大Walker 2008」では、博綜館屋上での記念撮影の後、参加者はメイン会場の第1会議室で、久しぶりに再会した恩師や旧友と、和やかな懇談の場をもつことができました。また、当日の参加企画である「大学見学ツアー・学内散策」では、「博物館観覧ツアー」「図書館見学ツアー」「人形劇ツアー」「学内散策（NPO法人「尋源舎」ブース）」のいずれかにご参加いただきました。また、当日配布された「学園祭模擬店利用券」を利用し、模擬店にも参加し

ながら在学生との交流も図られました。

第I部後半の「景品交換会」では、「大学見学ツアー・学内散策」に参加された方々に全国の同窓会役員・各支部からご提供いただいた特産品が贈られ、大変好評でした。さらに、模擬店を利用された参加者の投票により、自灯学寮が模擬店優秀団体として選ばれ、ホームカミングデーの席上で発表されるとともに、翌日の後夜祭において同窓会より表彰され、賞品が



恩師との再会風景

贈呈されました。

その後、京都ロイヤルホテル&スパに会場を移し、第II部「懇親会」が開催されました。今回は「同窓生の活躍紹介」企画として、本学卒業生の落語家 桂文鹿氏をお招きして、落語「はてなの茶碗」をご披露いただきました。その後、氏を囲んでの歓談が行われ、参加者一同和やかな雰囲気の中、盛会裏に終了いたしました。

(校友センター)



桂文鹿氏落語風景

GLOBAL SQUARE学生スタッフと留学生が学園祭に模擬店を出店

11月7日(金)～9日(日)に開催された学園祭にGLOBAL SQUARE学生スタッフが留学生と一緒にベビーカーの模擬店を出店しました。今回の出店は、留学生とともに学園祭を盛り上げたいというGLOBAL SQUAREで活動する学生スタッフの熱意がきっかけとなり実現に至りました。

学生たちは約一ヶ月前から、ポ

スターやチケット作成のために入念なミーティングを行い、学園祭当日をむかえました。初めのうちは不慣れな機材の扱いや、生クリーム作りに苦勞するなどのトラブルもありましたが、慣れてくるに従い、トッピングに工夫をこらしたり、声を張り上げてベビーカーを売ったり、普段とは違うお互いの一面を発見することができ

たようです。

(GLOBAL SQUARE)



スタッフと留学生で記念撮影

第5回「全国高校生『人間が大好きです！』表現コンテスト」表彰式を開催

11月8日(土)、響流館メディアホールを会場に第5回「全国高校生『人間が大好きです！』表現コンテスト」表彰式が行われました。このコンテストは高校生の文化活動支援を目的にKBS京都との共同主催で行われているもので、今回は北は北海道、南は沖縄県から50作品が寄せられました。

選考の結果、映像作品部門は兵庫県立東播磨高等学校放送部の皆さん、ホームページ部門は沖縄県立具志川商業高等学校の比嘉若菜さんが制作した作品がグランプリに選ばれました。

なお、今回は本コンテストが第5回を迎えたということで、特別企画として制作された作品の紹介も行いました。特別企画としては、京都府立嵯峨野高等学校放送部と大谷大学人文情報学科（松川ゼミ）にご協力いただき、『共通テーマ「Pure（純粋）」の設定のもと、高校生・大学生の感覚では完成作品がどのように違うのか？』ということで、それぞれの作品を放映しました。

当日のゲスト審査員の西村和彦さんをはじめとした審査員からのさまざまな講評は、作品を制作さ

れる高校生の皆さんにとって大変参考になったと思います。

上位受賞作品などは下記のホームページでご覧いただけます。

<http://www.kbs-kyoto.co.jp/ningendaisuki/>

（企画課）



表彰式の様子

中学生「生き方探究・チャレンジ体験」を受け入れ

11月11日(火)～14日(金)の期間、京都市立加茂川中学校の2年生の山本卓弥さんと横田雅晴さんの2名が「生き方探究・チャレンジ体験」として本学において職業体験を行いました。この取り組みは、生徒一人ひとりの興味や関心に基づく勤労体験、職場体験、ボランティア体験などの社会体験を通じて、すべての生徒の「生きる力」を育成するとともに、地域社会の人々との人間関係づくりや思いやりの心、共に生きる社会の一員としての自覚など、中学生が自己のあり方を見つめ、自らの生き方を考え、見つけられるよう支援していくこ

とを目的としています。

二人には、企画課と図書・博物館課での仕事を体験していただきました。企画課では、ポスター作成、広報関係業務の仕事として、広報物の発送作業、取材に取り組んでいただきました。なお、ポスターは学内掲示板等に掲示されています。また34頁の「谷大エリア散策」の写真は二人が撮影されたものです。図書館では本の整理・配架、貸出・返却手続きや書庫入庫などのカウンター業務など、博物館では展覧会の監視を体験していただきました。

今回の体験に参加した二人は

「日が経つにつれ疲れてきましたが、疲れている中でもしっかりと仕事をしていくことが大切だと教えてもらいました。一番早く正確に伝わるように仕事をこなす方法を見つけ、実行することが重要でした。」と話してくれました。

（企画課）



図書館でのカウンター業務

大学報恩講を厳修

11月27日(木)、講堂において、来賓をはじめ学外、学内から多数参集のもと、大学報恩講並びに歴代講師謝徳法要が挙行されました。

宗祖親鸞聖人の絵像と歴代講師の肖像画が掲げられた講堂で、学長の調声により『正信偈』を全員で唱和し報恩講を厳修しました。引き続き歴代講師謝徳法要に移り、

『阿弥陀経』の読経のなか、来賓、教職員、学生がそれぞれ焼香を行いました。

また、本年も6名の学生の出仕があり、全学挙げての法要となりました。

法要終了後は、臼井元成名誉教授より「宗祖親鸞聖人の教えに学ぶー悲喜交流ー」の講題で記念講



臼井元成名誉教授

演が行われました。その後、学内食堂に会場を移して小豆粥のお斎

を全員でいただきました。

(総務課)

実習懇談会を開催

11月29日(土)、博綜館第1会議室において、実習懇談会(教育実習・保育実習・社会福祉援助技術現場実習)を開催し、幼稚園、保育所、その他の社会福祉施設などで実習のお世話になっている先生方69名(48施設)をお迎えしました。

第1部の全体会では、木村宣彰学長の挨拶に引き続き、「実習における学びと育ち」をテーマに、本学実習生による実習報告と実習園からのアドバイスをいただきま

した。実習生と実習園からの双方の報告を聴くことは初めての試みでしたが、本学学生が実習においてどのように成長したか実感できる内容となり、たいへん有意義な会となりました。また第2部では分科会に分かれ、本学学生の実習状況や学生への実習指導などについて、現場の先生方の貴重なご意見をお聞かせいただきました。

その後第3部として、学内食堂において情報交換会が開かれ、和

やかな雰囲気の中で親睦を深めることができました。

(実習支援センター)



第1部 全体会の様子

小学生「大学見学」を受け入れ

亀岡市教育委員会人権教育課では、課外活動の一環として大学を訪問する体験学習を開催しています。今年度は11月29日(土)、大谷大学を会場に、詳徳小学校高学年のみなさん18名が体験学習を行いました。大学見学は、大学の特徴的な施設である響流館(図書館、総合研究室、博物館など)を見学しました。図書館では、広い配架スペースに驚いたり、実際に図書検索を行って本のありかを調べたり、図書館機能の活用を通して、大学での学びの一端を体験しました。

その後、本学ボランティア研究会(ひまわり)のみなさんの協力を得て、レクリエーション活動を

実施しました。ボランティア研究会では、クラブ活動の一環として毎週週末、亀岡市の東部文化センターで聴覚に障がいをもった子どもと地域の子どもたちとの交流を図るボランティア活動を行っています。その縁から、当日のレクリエーション活動に4名の方が協力してくれました。ドッジボールやかけっこなど、約1時間半に



レクリエーション活動風景

わたって体を動かし、みんな汗だくになるまで走りまわっていました。経験豊富なボランティア研究会の活動により、子どもたちはみな満面の笑みを浮かべ、お兄さん・お姉さんとの楽しいひと時を過ごしました。

(企画課)



ボランティア研究会と参加者で記念撮影

仏教学会公開講演会を開催

12月5日(金)、響流館3階のメディアホールにおいて、仏教学会公開講演会が開催されました。今年度は立正大学の三友健容教授をお招きして、「有部を巡る諸問題」と題された講演を拝聴しました。三友先生は2002年から2004年のあいだ、真宗総合研究所で客員研究員としておられたこともあって、本学とは深いご縁のある先生です。今回の講演会では、インドで発

展した18部派のひとつである説一切有部を取り上げ、その名前や起源について、従来の定説を覆すような興味深いお話を聞かせていただきました。講演は多くの資料を使用しながら、学部生にも分かりやすい講演でした。先生の長年の研究成果の一端を聞いて大きな刺激をいただき、出席した教員・学生ともに、仏教を研究する楽しさを再認識することができました。

(仏教学会)



三友健容氏

本学学生が高校の後輩に大学生活を紹介

去る12月8日(月)、京都府立北稜高等学校の1年生(約120名)が、進路教育の一環として本学のキャンパスを見学されました。

本学では、1号館1113教室におきまして、大谷大学、同短期大学の歴史や学科構成、学生生活等の説明を行った後、北稜高等学校の卒業生で、幼児教育保育科第1学年の瀬川昂彦さんに協力いただき、幼児教育保育科での様子や受験時の苦労話、高校生活での心構えなど、熱いメッセージを添えて語っていただきました。最後には、手遊び歌「わに」の実演も行ない、

高校生と一緒に楽しみました。

また、その後、学生ボランティアスタッフの協力により、6班に分かれてのキャンパス案内を行いました。高校生は、図書館にある書籍類の多さや研究室での大学生の様子に驚きの声をあげていました。

今回、後輩の前で本学を紹介してくれた瀬川さんは、「高校1年生に大学の話をしていても実感がないだろうと考え、手遊び歌をすることを思いつきました。最初は恥ずかしく、不安でしたが、いざやっ

てみると友達同士でもやってくれており、少しは興味を持ってもらえたのかなと思います。今回の経験で、後輩に少しでも役立てたことをうれしく思います。」と感想を述べられました。

(入学センター)



後輩に熱いメッセージを送る瀬川さん

大谷幼稚園開放セミナーを開催

12月10日(水)、宇治市木幡の大谷幼稚園にて、大谷幼稚園開放セミナーが開催されました。このセミナーは、大谷幼稚園の地域開放・住民の生涯学習に資する機会として開催したものです。9月に引き続き、本学の谷口奈青理准教授が講師として招かれ「期間限定!だっこのススメ」というテーマで講演しました。

谷口先生はカウンセリングの経験から、「年少組なら当たり前の「だっこ」を年長組の子どもが求めてくると、大人は成長の後戻り

ではないかと心配するけれども、それは春になるときの「寒の戻り」のようなもので、子どもは間違いなく成長していること、そしてもうすぐ「だっこ」とは言わなくなるので、だっこは本当に期間限定の「楽しみ」だから、安心してだっこしてあげてほしい。」と話をされ、講演後は熱心な質疑の応答となりました。

参加された方は一人ひとり、子どもの個性に合わせて見守り育てるには、自分はどうかわるのかについて、再確認したのではない

でしょうか。

大谷幼稚園開放セミナーは、今後も定期的に行っていく予定です。

(教育研究支援課)



セミナーの様子

国際文化学科主催ワークショップ「祈りの時間—オリッサの風に触れる—」を開催

12月12日(金)、響流館メディアホールにて、国際文化学科主催ワークショップ「祈りの時間—オリッサの風に触れる—」が開催されました。

今回のイベントは、「芸術表現」の授業などを通じ、東インド・オリッサの文化に興味を持った学生たちの自主的な動きに端を発していたため、関係各部署のご理解とご協力のもと、運営のほとんどを学生たちがおこないました。

会場では、スライドショーや民

族衣装である「サリー」や「ドレーティ」の着付け、「ジョティ」という吉祥模様の描画実演により、オリッサの文化が紹介されました。何より圧巻だったのは、学生および今回の講師であるショバ・ラニ・ダシュ先生による古典舞踊「オリッシー」とフォークダンス「サムバルプリ」の上演でした。衣装やメイクも本格的で、わずか3ヶ月程しか練習していないというのが信じられない迫力あるその舞台に、80人の来場者は皆、圧倒さ

れていました。終了後ビックバレーにてチャイの接待もあり、来場者は皆、チャイを飲みながらオリッサの風に触れた余韻を楽しんでいました。(国際文化学科)



古典舞踊「オリッシー」の上演

幼教フェスティバルを開催

12月14日(日)、第23回幼児教育保育科フェスティバルを講堂にて開催致しました。今年度のテーマは「絆～出会えた奇跡・共に見た夢～」。人と人との様々な出会い、支え合い、その中での絆の大切さ、温かさを伝えたいとの願いを込めて設定したものです。

第2学年の各クラスによる3つのミュージカル(浦島太郎、くるみ割り人形、アラジンと魔法のランプ)を中心に、各ゼミの演目、有志による吹奏楽、第2学年全員による大合唱というプログラム構成で行いました。

企画、構成から演出、音楽、美

術制作に至る取り組みを通して、協力・協調して一つのものを作り上げることの大切さを学び、観客にメッセージを伝える舞台づくりをめざしました。第2学年を中心に全員で取り組み、第1学年との交流も深まる良い機会となりました。



ロビーで遊ぶ子どもたち

ロビーには授業で制作した学生の作品や舞台模型、配役の衣装デザインなども展示し、日頃の取り組みの一端を見ていただきました。

大谷幼稚園をはじめ、ご来場いただきました皆様には深く感謝致します。

(幼児教育保育科)



オペレッタの様子

短期大学部文化学科スピーチコンテストを開催

12月17日(水)、響流館メディアホールにてスピーチコンテストを行いました。文化学科では、コミュニケーション能力や日本語運用能力を高めるため、「日本語表現Ⅰ」を必修としています。今回のコンテストはその日頃の成果を内外に披露し、次回の授業へと繋げていくという狙いのもとに行われました。各クラスからスピーチ発表者3名(総数9名)とその学生たち

を紹介する学生1名(総数3名)を選び、他の学生と教員は審査員として参加しました。



上位入賞者

1位には「祖母との最後の別れ」という題で、病床に伏していた祖母が急変し、駆け付けた時に経験



スピーチされる永岩さん

した、祖母と家族との絆の強さ、まさに消えようとしている時に改めて思い知らされた「死」に裏付けられた「生」の輝き、尊さについて語った永岩玲華さんが選ばれました。彼女は「緊張して噛んでしまったこともあったのですが、大切な祖母を亡くした時に感じた

ことが、聞く人にうまく伝わるように努力しました」と感想を語ってくれました。他に「勇気をくれた言葉」を語った角川菜摘さんが2位に、「限りある大切なもの」を語った熊谷奈津子さんが3位に、「八百屋に生まれて」を語った萱嶋友希さんが敢闘賞に選ばれまし

た。

いずれのスピーチからも、自己を表現する喜びと同時に、懸命に生きて成長している学生たちの姿がうかがわれました。

(文化学科)

中国文学会学術公開講演会を開催

中国文学会では去る12月19日(金)に、恒例の学術公開講演会を開催しました。今年度は武田時昌氏(京都大学人文科学研究所教授)をお迎えし、本学マルチメディア演習室にて、「出土簡帛の新証言—科学と占いのあいだ」と題して講演をしていただきました。

武田先生は、中国の漢時代の墓

から出土した画像等を示されたうえで、それら出土資料のおかげで、これまで不明とされてきた文書の意味が明確となり、古代人がかなり天文学に精通していたことを紹介されました。そしてそれらの知識を利用した占術が、現代にも通じるものであることや、古代の健康法など幅広く興味深いお話をし

ていただきました。

(中国文学会)



武田時昌氏

特別展「聖徳太子伝の世界—えがかれた和国の教主—」を開催

博物館では、10月10日(金)から11月29日(土)まで、特別展「聖徳太子伝の世界—えがかれた和国の教主—」を開催しました。4つのコーナー(「厩戸皇子とその時代」、「聖徳太子」の誕生、「聖徳太子伝の諸相」、「描かれた“聖徳太子”」)から構成され、10世紀に成立した『聖徳太子伝暦』が形成されていく過程や、それにもとづいて制作された絵伝など45点の貴重な資料が出品されました。本学博物館として初めて、『日本書紀』『上宮聖徳法王帝説』など国の指定文化財である国宝を4点出品し、来館者の興味を集めていました。

本展覧会にあわせて、4回の講演会が開催されました。(10月11日(土)東野治之氏(奈良大学教授)「『上宮聖徳法王帝説』の問題点」、10月13日(月・祝)小山正文氏(同朋大

学仏教文化研究所研究顧問)「聖徳太子絵伝と四天王寺」、11月3日(月・祝)竹部俊恵氏(富山・妙蓮寺住職)「井波別院瑞泉寺伝会の絵解き」(実演)、11月23日(日・祝)豊島修本学教授「聖徳太子信仰と民俗」)いずれも多くの方が聴講され、聖徳太子への学びを深めました。

また宮崎健司学芸員によるギャラリートーク4回と、会期中ほぼ毎日、学生ガイドによる解説ツアーを開催し、展示の概要をわかりやすく説明しました。さらに後期からは音声ガイドも導入しました。

現在博物館では冬

季企画展「みやこの姿」を開催しています。この展覧会では初出品となる本学所蔵「洛中洛外図屏風」をはじめ、江戸時代の京都の地図や風俗を紹介しています。(会期：12月16日(火)~2009年2月14日(土))

(図書・博物館課)



東野治之氏



小山正文氏



竹部俊恵氏



豊島修教授

紫明祭を終えて

「1は全てのために、 全ては1のために」

大谷大学学園祭実行委員会

委員長 青山 高宏



私たち2008年度大谷大学学園祭実行委員会がこの1年かけて作り上げた学園祭、「紫明祭」が終わり約2ヶ月経ちました。2ヶ月たった今、やっと「本当に終わってしまったんだな」という実感が出てきている状況です。学園祭が終わってすぐに実感がわかなかったのは約1年かけて作り上げたものを学園祭期間の3日間で消費したからかもしれません。本来は3日間のために1年かけて準備してきたと言うべきなのでしょうが。

2008年度大谷大学学園祭実行委員会が本格的に活動し始めた4月から今年の学園祭のテーマを決め、ステージの企画を決め、今年呼ぶプロのアーティストを決め、すごく濃くて、長いようで短い本当に充実した1年間を過ごしました。自分が委員長になってみると、委員長の仕事は考えていた以上に事

務処理や考えなければならないことが多く、また人に自分の思いや考えを伝えることがとても大変でした。自分が伝えなければならないことを正確に伝え、なおかつ後輩が見つけた「新しい方向を生かすにはどうしたら良いのか」ということは本当に最後まで悩みました。

今年のテーマの「^{まつりびと}祭人 ^{うたいびと}歌人 ^{おどりびと}踊人」は、この1年で何回も書いていますが、学園祭に関わる人すべてに学園祭を楽しんで欲しいという思いで決まりました。今年の学園祭の目玉である学園祭2日目のサンクンガーデン特設野外ステージで行われたプロアーティスト「FLOW」による野外完全無料ライブ、「FLOW LIVE IN 紫明祭」。そして学園祭最終日の後夜祭「FEEL my DANCE !!!!」この2つが今年のテーマを体現したもので

す。FLOW LIVE IN 紫明祭には2000~3000人の人が来場してくださり、また後夜祭にも本当にたくさんの方が来場してくださいました。3日間通して決して良い天候とは言えませんでした、イベント中にほとんど雨は降らなかったのもそれだけでも本当に救われました。

学園祭のように大きなイベントは1人の力では、決してうまくはいきません。また学園祭実行委員会幹部だけでも絶対に足りません。学園祭に協力してくださった、部員さん、模擬店、展示などをしてくださったサークル・部活の皆さん、フリーマーケットなどに参加してくださった地域の皆さん、そして、学園祭がスムーズに進行できるように協力してくださった学校関係者の皆さん、学園祭に関係したすべての「人」に心より感謝いたします。来年も、再来年もまだまだ学園祭は続きます。後輩たちがさらにより良いものを作り上げてくれると思うので、ご協力よろしくお願いいたします。





2008年度 秋季大会結果 —団体成績—

クラブ名	日 程	対戦校	結 果	会 場
卓球部 (男子) 関西学生卓球秋季リーグ戦 IV部Aブロック2位	9月18日 (木)	四天王寺大学	● 2 - 3	東大阪アリーナ
	9月19日 (金)	京都工芸繊維大学	○ 3 - 1	〃
	9月20日 (土)	滋賀県立大学	○ 3 - 0	近畿大学記念会館
	9月21日 (日)	京都橘大学	○ 3 - 0	〃
	9月26日 (金)	大阪電気通信大学 大阪学院大学	○ 3 - 1 ○ 3 - 0	〃 京都市体育館
卓球部 (女子) 関西学生卓球秋季リーグ戦 III部Bブロック3位	9月18日 (木)	和歌山大学	● 1 - 3	東大阪アリーナ
	9月19日 (金)	神戸大学	● 0 - 3	〃
	9月20日 (土)	奈良女子大学	○ 3 - 2	近畿大学記念会館
	9月21日 (日)	同志社女子大学	○ 3 - 0	〃
	9月26日 (金)	大阪教育大学	● 0 - 3	京都市体育館
柔道部 (男子) 京都十一大学親善柔道大会 I部1位	11月15日 (土)	佛敎大学	○ 2 - 1	舞鶴文化公園体育館柔道場
		京都府立医科大学	○ 4 - 1	〃
		京都学園大学	○ 4 - 1	〃
空手道部 全関西大学空手道選手権大会 II部8位	10月13日 (月)	京都工芸繊維大学 京都大学	○ 4 - 1 ● 1 - 4	大阪商業大学体育館 〃
硬式野球部 京滋大学野球連盟秋季リーグ戦 I部3位	9月 6日 (土)	びわこ成蹊スポーツ大学	○ 4 - 0	太陽ヶ丘球場
	9月 7日 (日)	〃	○ 10 - 2	〃
	9月13日 (土)	京都創成大学	○ 12 - 5	福知山球場
	9月14日 (日)	〃	○ 5 - 4	〃
	9月20日 (土)	佛敎大学	● 4 - 5	京都学園大学グラウンド
	9月22日 (月)	〃	○ 3 - 2	佛敎大学園部グラウンド
	9月27日 (土)	京都学園大学	● 8 - 10	太陽ヶ丘球場
	9月28日 (日)	〃	● 3 - 6	〃
	10月 9日 (木)	佛敎大学	● 0 - 1	草津グリーンスタジアム
	10月15日 (水)	花園大学	○ 3 - 2	太陽ヶ丘球場
10月17日 (金)	〃	○ 7 - 3	西京極球場	
サッカー部 関西学生サッカーリーグ戦 (後期) III部Bブロック4位	9月 7日 (日)	花園大学	○ 6 - 0	大谷大学湖西グラウンド
	9月20日 (土)	神戸市外国語大学	● 1 - 2	〃
	9月28日 (日)	京都橘大学	△ 1 - 1	〃
	10月 5日 (日)	奈良大学	○ 9 - 1	奈良大学
	10月12日 (日)	近畿医療福祉大学	○ 3 - 2	大阪府立大学
	10月19日 (日)	和歌山大学	○ 3 - 0	奈良大学
	10月26日 (日)	大阪工業大学	△ 1 - 1	神戸市外国語大学
	11月 1日 (土)	兵庫県立大学 神戸	● 0 - 2	大谷大学湖西グラウンド
	11月 3日 (月)	佛敎大学	○ 3 - 1	〃
	11月 9日 (日)	京都工芸繊維大学	● 0 - 1	〃
剣道部 (男子) 関西学生剣道優勝大会 一回戦敗退	9月15日 (月)	阪南大学	● 1 - 2	大阪市中央体育館
剣道部 (女子) 関西女子学生剣道優勝大会 一回戦敗退	9月15日 (月)	奈良県立医科大学	● 0 - 4	大阪市中央体育館
バスケットボール部 (男子) 関西学生バスケットボールリーグ戦 IV部Aブロック10位	9月 6日 (土)	京都文教大学	● 60 - 111	大谷大学
	9月13日 (土)	花園大学	● 65 - 87	京都精華大学
	9月14日 (日)	関西福祉大学	● 71 - 82	〃
	9月15日 (月)	太成学院大学	● 61 - 72	〃
	9月21日 (日)	京都精華大学	● 58 - 96	奈良大学
	9月27日 (土)	芦屋大学	○ 85 - 81	グリーンアリーナ神戸
	9月28日 (日)	大阪大谷大学	● 59 - 96	〃
	10月 4日 (土)	関西国際大学	● 61 - 88	京都精華大学
	10月 5日 (日)	姫路獨協大学	● 78 - 100	〃
	10月13日 (月)	奈良大学	● 55 - 78	大谷大学
バスケットボール部 (女子) 関西女子学生バスケットボールリーグ戦 III部Cブロック4位	8月15日 (金)	京都精華大学	○ 81 - 57	奈良教育大学
	8月16日 (土)	太成学院大学	○ 79 - 67	〃
	8月18日 (月)	大阪成蹊短期大学	● 67 - 83	京都精華大学
	8月19日 (火)	滋賀大学	● 65 - 104	〃
	8月21日 (木)	京都外国語大学	● 59 - 71	〃
	8月22日 (金)	大阪市立大学	○ 71 - 70	〃
	8月24日 (日)	奈良教育大学	○ 68 - 59	桃山学院大学
ソフトテニス部 (男子) 関西学生ソフトテニス秋季リーグ戦 V部Dブロック3位	9月23日 (火)	奈良大学	● 2 - 3	奈良大学
		奈良教育大学	○ 4 - 1	〃
		履正社医療スポーツ専門学校	● 0 - 5	〃
ソフトテニス部 (女子) 関西学生ソフトテニス秋季リーグ戦 VI部Aブロック4位	9月21日 (日)	奈良大学	● 1 - 2	奈良大学
		近畿医療福祉大学	● 1 - 2	〃
	9月23日 (火)	京都府立大学	● 1 - 2	京都府立大学

クラブ名	日程	対戦校	結果	会場
バレーボール部 (男子) 関西大学バレーボール秋季リーグ戦 VI部5位	9月21日 (日)	大阪市立大学	● 0 - 3	大阪大谷大学
	9月28日 (日)	四天王寺大学	● 1 - 3	〃
	10月 5日 (日)	京都府立大学	○ 3 - 2	兵庫県立大学 神戸
	10月12日 (日)	京都外国語大学	○ 3 - 0	姫路獨協大学
	10月13日 (月)	和歌山大学	● 1 - 3	大阪大学
	10月19日 (日)	大阪大谷大学	● 0 - 3	兵庫県立大学 神戸
	10月26日 (日)	兵庫県立大学 神戸	● 0 - 3	大谷大学
バドミントン部 (男子) 関西学生バドミントン秋季リーグ戦 IV部Aブロック1位	9月 5日 (金)	奈良教育大学	○ 4 - 1	大谷大学
		大阪大学外国語学部	○ 4 - 1	〃
	9月 7日 (日)	大阪芸術大学	○ 5 - 0	大阪大学外国語学部
	9月11日 (木)	大阪経済法科大学	○ 5 - 0	大谷大学
	9月14日 (日)	大阪電気通信大学	○ 4 - 1	〃
	阪南大学	● 1 - 3	大阪市東淀川体育館	
バドミントン部 (女子) 関西学生バドミントン秋季リーグ戦 IV部Aブロック3位	9月 6日 (土)	京都大学	○ 4 - 1	京都大学
	9月11日 (木)	甲南大学	● 1 - 4	甲南大学
	9月14日 (日)	京都府立大学	○ 3 - 2	京都府立大学
		関西福祉科学大学	● 2 - 3	〃
	9月16日 (火)	桃山学院大学	○ 4 - 1	大谷大学
アメリカンフットボール部 関西学生アメリカンフットボール秋季リーグ戦 III部Cブロック3位	9月13日 (土)	京都教育大学	○ 13 - 12	宝ヶ池球技場
	9月28日 (日)	京都学園大学	△ 26 - 26	〃
	10月12日 (日)	京都薬科大学	○ 34 - 13	王子スタジアム
	10月25日 (土)	京都府立大学	● 19 - 28	EXPO FLASH FIELD
	11月16日 (日)	京都外国語大学	● 13 - 14	〃

2008年度 秋季大会結果 一人成績

●卓球部 (女子)

<春季京都九大戦>

於 京都大学 (8月24日)

シングルス

・第2位 河合麻友
(文学部国際文化学科 第2学年)

ダブルス

・優勝 岩田政代
(文学部国際文化学科 第3学年)
佐藤有夏
(文学部社会学科 第4学年)

●硬式野球部

<京滋大学野球連盟秋季リーグ戦>

於 西京極球場他 (8月26日~)

最優秀投手賞

稲葉尚輝 (文学部社会学科 第3学年)

首位打者賞

藤川圭市 (文学部仏教学科 第3学年)

新人賞

桐木陽介 (文学部人文情報学科 第1学年)

ベストナイン

・捕手 藤川圭市
(文学部仏教学科 第3学年)

・外野手 加藤健太
(文学部哲学科 第3学年)

・指名打者 小林憲児
(文学部史学科 第4学年)

●陸上競技部

<京都スポーツ祭典陸上競技大会>

於 太陽ヶ丘陸上競技場 (9月23日)

男子400m

・第7位 上田明範
(文学部社会学科 第1学年)

男子走り幅跳び

・第8位 神坂恵行
(文学部真宗学科 第2学年)

<関西学生陸上競技学年別選手権大会>

於 大阪市長居第2陸上競技場 (10月21日~)

男子10000m

・第6位 西村慈生
(文学部社会学科 第2学年)

●サッカー部

<関西学生サッカーリーグ戦>

於 大谷大学湖西グラウンド他

(4月5日~11月30日)

得点王

北村卓大 (文学部国際文化学科 第3学年)

アシスト王

北村卓大 (文学部国際文化学科 第3学年)

大会優秀選手賞

北村卓大 (文学部国際文化学科 第3学年)

佐武瑛久 (文学部国際文化学科 第1学年)

課外活動 イベント情報



課外活動の 活動予定



団体名	イベント名	日程	開催時間
	会場	備考	
サッカー部	第59回京都学生サッカー選手権大会	3月7日(土)～3月29日(日) 予定	10:00～18:00
	大谷大学湖西キャンパスグラウンド他	>> http://www.eonet.ne.jp/~otani-univ/	
サッカー部	第38回京都学生サッカー選手権大会	4月上旬予定	10:00～18:00
	大谷大学湖西キャンパスグラウンド他	>> http://www.eonet.ne.jp/~otani-univ/	
美術部	大谷大学美術部卒業展示会	2月17日(火)～2月22日(日)	10:00～18:00～20:00
	ギャラリーヤマシタ 京都市中京区寺町三条上る西側	最終日(22日)は搬出作業のため17時まで。	
落語研究会	京都八条口あばん亭 シリーズ第11回「学生お笑い寄席」	2月22日(日)	未定
	京都市アバンティホール 京都市南区東九条西山王町31番地アバンティ9階	>> http://fine.ap.teacup.com/warainogakkou/	

学問のしおり

私の40年以上にわたる貧しい学究生活を定年を前にして今顧みると、やはり、恩師西谷啓治先生、とりわけその著書『宗教とは何か』に出遇ったことが決定的な出来事であったと思われる。つまり、私の学問・研究の出発点となり、それ以後今日に至るまで、私の研究や学究生活の羅針盤として私を導き一貫して支えてくれたものは、西谷先生の『宗教とは何か』の一書であったと言っていいであろう。

私は学部的时候には英文学を専攻し、とくに卒業論文には力を注ぎ、2年間自分なりに勉学に励んだのであるが、論文を書き終えた後で何か物足りなさを感じ、もう少し勉強したいということで大学院へ進むことにした。しかし、大学院で何を専門に学ぶべきかということで悩んでいた時、たまたま『宗教とは何か』に出会い、そこに書かれている内容はよく理解できなかったが、しかしここには卒業論文を書き終えて満たされなかった「ある種の空虚感に代えてくれるもの」、「自分が本当に求めようとしている何ものか」があることを強く感じ、西谷先生の下で宗教哲学を学んでみたいという決心が自ら湧いて

きた。当時は、西谷先生がどのような方なのか、『宗教とは何か』が今日のように世界思想史上において高く評価され国内外で大きな影響力をもちうる本であることは全く知らなかった。ただそこには、「自分が求めようとしているもの」が驚くほど広く深い省察力と透徹さをもって真正面から究明されていること、それゆえその先生の下でぜひ学びたいという純心で熱い思いがあるだけであった。

このようにして出立した私の学問・研究であったが、実際に始めてみると、現実の様々な問題に直面し悪戦苦闘する日々であった。例えば、私にはその当時哲学的基礎学力がなかったので、先生の講義をよく理解できず、ノートすらもまともに取ることができなかった。また、私は第二外国語にフランス語を取ったので、ドイツ語を初歩から始めなければならなかったが、当時の演習はカントの『宗教論』、文献研究はヘーゲルの『精神現象学』であった。それゆえ、最初はほとんど理解することができなかった先生の講義、演習、講読ではあったが、しかし忍耐強く聴講を続け必死に学んでいるうちに、何となく



私の学問・研究の遍歴とそれを支えてくれたもの

築山 修道

少しずつ理解できるようになり、ある種の喜びが感じられるようになってきた。そして修士論文は「スピノザの神観」について書いた。理由は、彼の高潔な人格と深淵な思想に心を惹かれ、また彼が西洋近世宗教哲学の学祖の一人であったからである。その後しばらくスピノザの研究を続けていったが、同時に他の宗教諸思想にも関心が広がっていった。例えば、キリスト教神秘主義思想やウィリアム・ジェームズの宗教経験の理解などである。そういう中で、そもそも「宗教とは何か」、宗教の本質・真理・真実を究明すべき学問・研究のあり方・立場・方法などが次第に私の重大な関心事となってきた。そこで、私はある時期こうした問題に悩み、模索が続いたのであるが、その中から見い出された一つの方向が近世自由神学の基礎を築いたシュラエルマッハーの宗教思想であった。

その後数年間は彼の思想を中心に、同時に、実存哲学や仏教思想にも関心を寄せつつ、宗教の哲学的研究を続行していった。しかるに、宗教の本質・核心を問うという点において、シュラエルマッハーの

宗教思想にも重大な難点が看取され、そこに留まりえなかった。

かくして、その後も様々な紆余曲折を経ながらも、結局私が心底より己を傾注して究明するに価すると確信するに至った思想はキェルケゴールの実存的宗教思想であった。それと同時に、難解ながらも私が種々の点で最も関心を惹かれ、ある種の畏敬の念と共に親近感をもって今日まで研究することができた思想は西田哲学である。それゆえ、ここ20年以上はキェルケゴールの宗教思想と西田哲学を中心に研究をしてきた。しかし、近年の私の関心事は、親鸞聖人の仏教思想を身をもって受け取り直しつつ、自らの宗教論を著してみたいということにある。これも、『宗教とは何か』の一つの帰結なのかもしれない。

(つきやま しゅうどう
教授 比較思想・国際文化学)

年度末・年度始めの日程

2008年度末
後期試験

1月21日(水)～30日(金)

2009年度始め

オリエンテーション開始

3月30日(月)

前期授業開始

4月7日(火)

聴講登録票提出期間

4月13日(月)～15日(水)

教務課

修士論文・卒業論文の口述試問等の日程

2008年度提出の修士論文・卒業論文について、口述試問を次のとおり実施します。日程発表日に教務課掲示板で時間等をお知らせしますので、各自確認のうえ口述試問を受けてください。

	日程発表日	試問期間
修士論文	1月8日(木)	1月14日(水)～2月2日(月)
卒業論文	1月19日(月)	1月21日(水)～2月2日(月)

後期定期試験について

今年度後期試験は、1月21日(水)から1月30日(金)までの期間に実施します。試験方法、時間割等詳細は、1月7日(水)に教務課掲示板及び大学ホームページ「学生向け情報提供システム」にて発表します。

後期追試験について

病気・不慮の事故等の事由で後期試験を受けられなかった学生について、次のとおり追試験を実施します。(詳細は『履修要項』で確認してください。)

1. 出願期間

当該科目試験日から1週間以内。ただし、試験日によっては出願の締切りが変更になります。

詳しい日程は、教務課掲示板及び大学ホームページ「学生向け情報提供システム」で確認してください。

2. 追試験日

2月16日(月)・17日(火) (レポート提出締切日は2月16日(月)です。)

真宗大谷派教師修練・補任式について

後期修練 (文学部第4学年・短期
大学部第2学年主対象)

第1班 2月3日(火)～2月9日(月)

第2班 2月14日(土)～2月20日(金)

第3班 3月3日(火)～3月9日(月)

第4班 3月10日(火)～3月16日(月)

前期修練

(短期大学部第1学年主対象)

3月23日(月)～3月29日(日)

教師補任式 (全学合同)

3月19日(木)に挙行されます。式
の時間等詳細は2月26日(木)に教務
課掲示板にてお知らせします。

修了・卒業予定者氏名、並びに諸資格(教職・保育士・大谷派教師・学芸員・図書館司書・社会福祉士)単位修得合否の発表について

2月26日(木)午前10時に教務課掲示板にて発表します。卒業・修了
予定者については大学ホームペー

ジ「学生向け情報提供システム」
にも掲載します。各自確認してく
ださい。

なお、電話等での問い合わせに
は応じられませんのでご了承ください。

文学部の進級者の発表について

3月12日(木)午前10時に教務課掲示板及び大学ホームページ「学生向け情報提供システム」にて発表しますので各自確認してください。

なお、電話等での問い合わせには応じられませんのでご了承ください。

今年度卒業予定者の証明書の発行について

今年度卒業予定者で、卒業式当日に卒業証明書・成績証明書(後期の成績を含むもの)・資格取得証明書が必要な場合は、次の期間に申込みをしてください。

2月26日(木)～3月13日(金)

卒業式当日、卒業証書・学位記等とともにお渡しします。

※この期間後の申込みについては、卒業式の翌日以降の発行になります。

年度末の証明書発行について

3月23日(月)～3月31日(火)の期間は学年切替作業のため証明書自動発行機は使用できません。必要な証明書は、各自で前もって準備しておいてください。

科目等履修生・聴講生制度について

卒業後も開講科目を受講することのできる「科目等履修生・聴講生」制度を実施しています。

在学中に資格課程の単位を未修得のまま卒業した場合等は、この制度によって必要な科目を履修することができます。

ただし、資格課程を履修希望の場合、出願資格・受講可能科目等に条件がありますので、早めに教務課窓口にて相談してください。

出願書類配付 2月下旬(予定)

出願期間 3月24日(火)～4月2日(木)

「小学校教諭一種免許状取得プログラム」出願書類配付及び出願説明会について

2007年度より神戸親和女子大学との協定による「小学校教諭一種免許状取得プログラム」をスタートしました。

このプログラムは、出願者の中から学内選考により履修許可者を決定するものです。次年度、本プログラム出願希望者は、「出願書類配付および出願説明会」を開催

しますので、必ず参加してください。

なお、本プログラムは、中学校教諭一種免許状取得を前提としたものであり、小学校教諭一種免許状のみの取得はできませんのでご注意ください。

また、本学学費とは別に神戸親和女子大学通信教育部における科

目等履修にかかる費用が必要となります。

※詳細は、決まり次第教職課程掲示板(至誠館1階)及び本学ホームページ「学生向け情報提供システム」でお知らせしますので各自で確認して下さい。

学生支援課

今年度卒業・修了予定のみなさんへ

学生証の返還について

3月18日(水)に卒業・修了される学生のみなさんは、卒業式当日に学生証を返還してください。

※学生証の有効期限は3月31日までです。学割などを使用される方は後日返還(郵送可)してください。

卒業・修了証明書について

卒業式当日に、卒業・修了生全員に卒業・修了証明書1通を証書とともにお渡しします(事前申込不要)。ただし2通以上必要な方は、教務課の上記「今年度卒業予定者の証明書の発行について」を参照の上、受付期間内に申込みをしてください。

在学生のみなさんへ

2009年度オリエンテーションについて

新年度オリエンテーションは、**3月30日(月)～4月6日(月)**に実施の予定です。入学式(4月1日)前から始まりますので注意してください。詳細な日程は、3月中旬に保証人宛に郵送するほか、学内掲示板及び「学生向け情報提供システム」でお知らせします。

学生証の更新について

新年度オリエンテーション期間中に「在籍確認シール」を配付します。受け取り後、必ず必要事項を記入し学生証裏面のシールを貼り替えて、有効期限を更新してください。新年度のシールが貼付されていない学生証は無効となり、通学定期券を購入できなくなるなどの不利益を被る場合がありますので注意してください。

住所(帰省先・下宿住所)・電話番号等の変更は、速やかに届出を

保証人住所(帰省先など)・現住所(下宿住所)・電話番号(携帯電話)などに変更が生じた場合は、速やかに学生支援課で「学籍事項登

録票(変更)」を受け取り、修正手続きをしてください。修正されていない場合、大学から重要かつ緊急の連絡ができず、トラブルの

原因となりますので注意してください。

海外渡航についての注意

海外へ渡航する場合には、「学生渡航届」の提出が必要です。指導教員の了承を得たうえで、必ず学生支援課へ提出してください。

近年、海外では地震・台風等の自然災害や戦争・紛争等、不測の事態に巻き込まれる危険が増大しています。渡航にあたっては、各種ホームページにて、渡航先の治安状況、衛生状態等を調査し、情報をこまめにチェックしたうえで慎重に計画を立ててください。

また、利用する旅行会社・航空会社について信頼できる会社であるか、緊急連絡体制は万全であるか等を確認し、自分自身を守るため「海外旅行傷害保険」に必ず加入してください。

海外渡航に関する情報は、GLOBAL SQUAREでも提供していますので利用してください。

〈厚生労働省検疫所ホームページ〉
(海外渡航者のための感染症情報)
<http://www.forth.go.jp/>
〈外務省海外安全ホームページ〉
<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

帰国後、体調に変化がある場合は、保健所に相談後、大学へ連絡してください。
本学連絡先
075-411-8120 (保健室)

校友センター

卒業・修了ならびに同窓会新入会員歓迎祝賀会のご案内

来る3月18日、本学を卒業・修了され、新たに同窓会員となられる皆さまを対象に、大谷大学・大谷大学短期大学部と大谷大学同窓会が共催して、「大谷大学卒業・修了ならびに同窓会新入会員歓迎祝賀会」を開催いたします。今年度は、ウェスティン都ホテル京都を会場に開催を予定しています。

当日は、多数の教職員に出席いただき、また、サークルによるアトラクションの企画も用意して、楽しい会となるように計画しています。

卒業証書・学位記授与式にご出席の父母兄弟の皆さまもお誘い合わせのうえ、ふるってご参加ください。



昨年の祝賀会風景

■日時 3月18日(水) 16:30~18:30

*卒業証書・学位記授与式終了後

■会場 ウェスティン都ホテル京都
西館 瑞穂の間

[交通機関]

地下鉄烏丸線 「烏丸御池」下車

〔乗換〕地下鉄東西線「蹴上」下車すぐ

■立食パーティー形式

*「大谷大学卒業・修了ならびに同窓会新入会員歓迎祝賀会」の案内状は卒業・修了通知書とともにお届けいたします。

なお、当日は各自で直接会場にご集合ください。

<お願い>

会場内は禁煙とさせていただきます。また、在学生の参加はご遠慮ください。

図書館

年度末の図書館利用について

2009年1月7日(水)からの図書館の開館予定は次のとおりです。

追加や変更などがある場合は、掲示やHPにてお知らせいたします。

期間	開館状況	
1月7日(水) 1月9日(金)	■通常開館	9:00-19:30
1月10日(土)	■延長開館	9:00-17:30
1月13日(火)	■通常開館	9:00-19:30 ※1/13(火)は冬期休暇長期貸出資料の返却期限です。
1月14日(水) 1月20日(火)	■後期試験前延長開館	(月)~(金) 9:00-20:00 ※1/17(土)~1/18(日)は大学入試センター試験のため休館
1月21日(水) 1月29日(木)	■後期試験延長開館	(月)~(金) 9:00-20:00 (土) 10:00-17:30 (日) 休館
1月30日(金)	■通常開館	9:00-19:30
2月2日(月) 3月13日(金)	■短縮開館	(月)~(金) 10:00-17:30 (土・日・祝) 休館 ※2/7(土)~2/10(火)は一般入試[第1期]のため休館 ※3/9(月)は一般入試[第2期]のため休館

期間	開館状況	
3月16日(月) 3月19日(木)	■短縮開館	(月)~(金) 13:00-17:00 ※ただし3/18(水)は卒業証書・学位授与式のため休館
3月23日(月) 3月27日(金)	■休館	館内整理のため休館
3月30日(月) 3月31日(火)	■短縮開館	9:00-18:00 ◆3/31(火)は最終返却期限です。
4月1日(水)	■休館	入学式

※2月~3月は(土・日・祝)休館

貸出中の図書は、返却日までに必ず返却してください。

総務課

卒業証書並びに学位記授与式について

2008年度卒業証書並びに学位記授与式を次のとおり挙行いたします。

日程：2009年3月18日(水)

		第1部	第2部	第3部	真宗大谷派教師資格取得 コース履修生修了証書授与式
対象専攻・学科		大学院：真宗学・仏教学 哲学・社会学 文学部：真宗学科・仏教学科 哲学科・社会学科	大学院：仏教文化・国際文化 文学部：史学科・文学科 国際文化学科 人文情報学科	短期大学部：仏教科・文化学科 幼児教育保育科	真宗大谷派教師 資格取得コース履修生
卒業証書・ 学位記授与式	時間	9時30分	11時15分	13時00分	14時30分
	場所	講堂	講堂	講堂	尋源講堂
学位記・証書・ 履修単位通知書等配付	時間	10時30分	12時15分	13時50分	
	場所	1号館(詳細は後日)	1号館(詳細は後日)	2号館(詳細は後日)	

※証書等の配付方法について

講堂での式典終了後、引き続き各学科ごとに教室に分かれ、証書等を各学科の代表の先生より卒業生の皆さん1人ずつにお渡しいたします。

※お願い

卒業予定者の皆さんへ：

講堂での式典終了後、各学科ごとに指定された教室へ速やかに移動してください。式典のスムーズな進行にご協力ください。

在学生の皆さんへ：

講堂での式典終了後、卒業生の方々に証書等の配付をすぐに行いますので卒業生の移動、式典等のスムーズな進行にご協力をお願いします。

財務課

2009年度 前期学生納付金(学費)の納入について 納入期限は4月20日(月)―締切日厳守―です。

前期学生納付金の納入期限は4月20日(月)〈銀行受付日付有効・納入期日厳守〉です。

納入期限までに納入のない場合は、学則により除籍となりますので注意してください。振込依頼書は、保証人宛に2009年4月1日に大学より一斉発送します。保証人住所、現住所、電話番号など、学籍事項に変更があった場合は必ず学生支援課に「学籍事項登録票(変更)」を提出してください。また、振込依頼書が届かない場合、または紛失、破損した場合には再発行しますので、財務課まで申し出てください。

なお、事情により期限内納入が困難と予測される場合には、必ず納入期限までに、学生支援課に相談し、学費延納の手続きをしてください。

手続きには「学費延納許可願」(所定用紙)および学生納付金負担者の所得証明書(納税証明書・源泉徴収票等)が必要です。

○2007年1月4日から、「本人確認手続に関する法令」の改正により、金融機関において10万円を超える現金の振込みを行う場合には、**本人確認書類の提示**が必要となりました。(ATMでは、

10万円を超える現金の振込みができません。ただし、現金ではなく預金口座を通じて振込みを行う場合は、ATM・窓口のいずれにおいても、これまでと同様の手順・方法で振込むことができます。)

○学費納入の際には、指定の振込用紙とともに、**振込みの手続きを行う方の本人確認書類**(運転免許証、健康保険証、パスポートなど)をご用意のうえ、金融機関の窓口をご利用ください。

2009年度前期学生納付金一覧		学 費		その他の費用			合 計 額
		授 業 料	施 設 費	大谷学会費	学生会費	教育後援会費	
文 学 部	真宗、仏教、哲、社会、 歴史、文、国際文化学科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000	516,000
	人文情報学科	397,500	175,000	1,000	2,500	15,000	591,000
短期大学部	仏教科・文化学科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000	516,000
	幼児教育保育科	397,500	110,000	1,000	2,500	15,000	526,000
大 学 院	博士後期課程 (2005年度以前入学生)	240,000	60,000	1,000		15,000	316,000
	修士・博士後期課程 (2006年度以降入学生)	240,000	100,000	1,000		15,000	356,000

キャリアセンター

キャリアセンターは、就職や進学など、進路全般についての相談窓口です。相談や質問があれば、学年を問わず、キャリアセンターに来てください。

また、キャリアセンターでは以下のガイダンスなどを企画しています。詳細は、キャリアセンターから発送されるDMや掲示、学生向け情報提供システムなどで確認してください。

就職活動直前ガイダンス（面接対策）

対 象：2010年3月短期大学部（仏教科・文化学科）卒業予定者

日 程：2月2日(月) 13時～16時

会 場：1213教室

申込期間：1月13日(火)～1月26日(月)

費 用：無 料

採用試験において、面接はほとんどの企業で実施されています。面接対策は1人でできるものではありません。集団面接・個人面接の対策を行い、自信を持って採用試験に臨みましょう。

就職ガイダンス

対 象：2010年3月卒業・修了予定者

日 程：2月4日(水)・5日(木) 10時～11時30分

会 場：1214教室

会社説明会参加や採用試験を受験するにあたって、応募書類や内定に関すること、マナー上で注意すべき点など詳細についてガイダンスします。4日か5日のいずれかに出席してください。

学内「企業セミナー」

対 象：2010年3月卒業・修了予定者

日 程：2月4日(水)・5日(木) 13時～16時30分

会 場：1号館 各教室

学内で開催される合同企業セミナーで、2日間にわたり約50社の企業が参加します。これまで多くの学生が、このセミナーにより内定へと繋がっています。実践的な就職活動の始まりともいえる学内「企業セミナー」に、ぜひ参加してください。

*詳細は、キャリアセンターの掲示板・学生向け情報提供システムにて確認してください。
参加企業は1月中旬に発表します。

教職支援講座 ④

教職アドバイザー 長谷川 浩三

教員を取り巻く環境

教育界は保守的だとよく言われます。しかし、最近の教育界を取り巻く状況は、ずいぶん変わってきています。2007年6月に教育三法案が成立し、新聞に大々的に報道されたことは、皆さんの記憶にあるでしょうか？どんな論議がなされ、どう改正されたのか、要点をまとめておきましょう。

1. 学校教育法の改正について

主な改正点は4点で、第1は幼・小・中・高の教育の目的及び目標の見直しです。これは、改正教育基本法第2条の「教育の目標」にある教育理念を受けての改正です。第2は、学校の組織運営体制及び指導体制の充実を図るため、副校長、主幹教諭及び指導教諭を設ける点です。

第3は、学校評価と、家庭・地域等に対する情報提供についての改正です。第4は、大学等は、社会人等を対象にした教育プログラムの履修者に証明書を交付できるようになったことです。

2. 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正について

主な改正点は5点ありますが、まとめて言えば、教育委員会の責任体制、体制の充実、議会等との関係を明確にしています。

3. 教育職員免許法及び教育公務員特別法の改正について

教員全体への信頼性を高め、全国的な教育水準の向上をはかるため、教員免許更新制を導入することが、重要な改正点です。免許状の有効期間を10年とした

こと、更新のための講習を受講すること、教員が不適切な指導と認定されたなら、免職等の処置を受けることが定められました。

以上、教員を取り巻く環境の変化を取り上げました。公教育への信頼を一層高めるには、質の高い教員の養成・確保を図らねばならないし、人事管理を厳格化しなければならない。そのためには、文部科学省から学校の教員に至るまでの意識改革と協力が不可欠だとの考えに立った改正であると言えます。この改正の根幹を成すものは、60年ぶりの教育基本法の改正であることは言うまでもないことです。

GLOBAL SQUARE

GLOBAL SQUAREでは、留学相談や留学情報の提供、語学勉強会、留学生との交流イベントなどを実施しています。各種イベントなどの詳細は、ホームページやGLOBAL SQUARE掲示板で確認してください。

URL : <http://web.otani.ac.jp/gs/>

■留学出発前オリエンテーション

2009年度前期の留学予定者を対象に留学出発前オリエンテーションを開催します。長期間、外国での生活を始める準備と対策を十分にしておき、実りのある留学を実現させましょう。

日 時：2009年1月30日14時～

*詳細は掲示・ホームページにてお知らせします。

場 所：GLOBAL SQUARE

内 容：◎入国際の注意点

◎留学先到着後の手続

◎留学中の安全対策

◎帰国後の手続

■学生スタッフ募集

GLOBAL SQUAREイベントの企画・実施や留学生のサポートなどをする学生スタッフを募集しています。国際交流や留学生との交流に興味のある人は、ぜひ参加してください。

■2月・3月の開室時間について

2月2日(月)～3月27日(金)は、開室時間を短縮し、12:30～17:00となります。3月30日(月)より平常開室いたします。

*詳細、変更(臨時閉室)は掲示・ホームページにてお知らせします。

2009年度学費について

本学では、学生納付金のうち文学部および短期大学の授業料については、毎年一定の算式で改訂するスライド方式を採用しています。

2009年度の文学部と短期大学の授業料のスライド率は、2008年度と同様0.00%とし、授業料は2008年度の額795,000円のまま据置とします。また、施設費も2008年度と同様、文学部真宗学科、仏教学科、哲学科、社会学科、歴史学科、文学科、国際文化学科および短期大学部仏教科、文化学科は200,000円、文学部人文情報学科は350,000円、短期大学部幼児教育保育科は220,000円とします。また、大学院の授業料も2008年度の額480,000円のまま据置とし、施設費も2008年度と同様、2006年4月以降の入学者は200,000円、2006年3月以前の入学者は120,000円とします。なお、2009年度から開設する文学部教育・心理学科の授業料は860,000円、施設費は220,000円です。

本学では、皆さんの学費を有効に利用し、教育研究の充実と学生支援

のための様々な事業を実施しています。

2008年度より文学部と短期大学の入学生よりGPA制度を導入しました。GPAは、登録した全科目の成績の平均を数値で表し、学業結果を総合的に判断するものです。学生の皆さんには Semester ごとの学習成果と推移がより明確となり、各自の履修状況の確認が容易となります。

また2008年度の国際交流科目は、海外語学研修として韓国の東西大学校とイギリスのキール大学へ、海外文化研修としてインドとヨーロッパ(ドイツ)への研修を実施しました。この国際交流科目は、様々な国の文化理解を目的とし、国際的な視野を深めることができるよう開設しています。

学生生活の面では、従来作成していた“STUDENT GUIDEBOOK”を見直し、新たに『学生生活サポートブック』を作成しました。これは、新入生の皆さんが大学生活を始めるに当り、必要な情報を提供し、より

快適に、より充実した学生生活を送れるようにするためのものです。

就職支援では、2008年度からキャリア形成支援科目として新たに「キャリアデザイン概論」を前期に開講しました。この授業は「キャリアデザイン」という考え方を手がかりに、生きること、学ぶこと、働くことについて理解を深め、充実した学生生活を基礎とした進路選択を実現することを目的としたものです。また2008年度の4月から就職アドバイザーを配置し、企業の採用動向の把握や新規の求人開拓を積極的に進めています。

本学に在籍する学生の皆さんが、キャンパスの中で様々な学びや出会いによって、生きる意味を問い、自分自身の「生き方」を確かなものとするができるように、今後もより一層教育研究の拡充をはかり、充実した学生生活を送れるよう整備してまいります。ご理解の程よろしくお願ひ申し上げます。

(大谷大学・大谷大学短期大学部)

(A) 文学部

(年額)

学 費	学 科	真宗、仏教、哲学、社会、歴史、文学、国際文化学科	人文情報学科	教育・心理学科
授 業 料		795,000	795,000	860,000
施 設 費		200,000	350,000	220,000
合 計		995,000	1,145,000	1,080,000

(2009年度入学者は入学金200,000円が必要)

(B) 短期大学部

(年額)

学 費	学 科	仏教科、文化学科	幼児教育保育科
授 業 料		795,000	795,000
施 設 費		200,000	220,000
合 計		995,000	1,015,000

(2009年度入学者は入学金200,000円が必要)

(C) 大学院文学研究科

(年額)

学 費	課 程	修士課程	博士後期課程
授 業 料		480,000	480,000
施 設 費		200,000	200,000
合 計		680,000	680,000

(2009年度入学者は入学金200,000円が必要)
(2006年3月以前の入学者の施設費は120,000円)

谷大エリア散策

第34回 花彦さん（生花店）

北大路橋西詰南側の生花店・花彦さんを訪ね、ご主人の城吉明さんにお話を伺いました。



店主の城吉明さん

—お店はいつ頃からですか

私の父が始めた店で、今年で80年になります。開店当初は烏丸鞍馬口にあり、戦争中はこの場所と3軒ほど西の2ヶ所で営業し、終戦後にこの1軒に集約しました。現在は他にVIVRE店と北山店があります。父は城彦次郎といいますので「花彦」です。花屋はたいいてい、店主の名前の一文字を取って名付けている店が多いようです。



お店の外観

—どんな所からの注文を受けておられますか

うちは昔から上賀茂神社の御用を承っています。葵祭の行列の装束には、葵の葉のほかに魔除けの匂草蒲をくり付けますが、その草蒲の調達を毎年一手に引き受けています。一度に400~500本必要でして、栽培されていない自生の植物なので揃えるのが一苦労です。京都で足りなければ鹿児島や岐阜からも調達します。京都産は短いですが根がしっかりしていて、鹿児島産は茎が長く、岐阜産は短いといった産地ごとの特徴があります。競馬会神事の際や、普通は入れない勅使殿への生け込みも承っています。京都の他の神社にも出入りさせていただいていますが、神社には各々に決まり事があるので難しいですね。

多くの老舗料亭からも仕事を受けてまして、ほぼ週1回生け込みに伺って

ます。和室ですのでお茶花です。私はお茶花が好きで、得意でもあります。20年ほど前に大阪で開かれた「花博」のお茶席の花は全てうちが担当しました。

また店の仕事以外にも長年、生花店組合の仕事を務めてきました。伏見の深草にある花市場の中に、全国に3校しかないフラワー技能の学校を創立し、「フラワー装飾技能検定」という検定試験制度を作るために尽力しました。これは国家資格で合格者もまだ少ない難しい試験です。うちの店には息子を含め二人の技能士がおります。

—大学からの注文はありますか

大谷大学へは毎週、学長室へ仏花を納めています。以前、NHKの「こころの時代」という番組に当時の小川学長が出演され、学長室で収録が行われた際には特別注文のお花を生け込ませていただきました。他に同志社大、府立大、佛教大、北山店では工織大など市内の多くの大学へ伺っています。



花彦さんのフラワーアレンジメント（学内にて撮影）

—お花を生けるときに大切なことは

どんな花でもその場の雰囲気に合わせていることが一番大事ですが、和の花で最も大切なのは季節感を出すことです。花の種類と名前、どの時期に何が咲くかということをしっかり頭に入れておかなければなりません。同じ種類の花でも呼び名が違い、時期によって使い分けることもあります。例えば白玉という椿は雪が降るまでの時期、雪が降ると初嵐というものを使うのです。古い本でお茶花の基本の型を学び、それに現代的な素材の花を一つ加えるなどして少しずつ応用しています。茶道は習っておりませんが、父に教わりながら花の修行をし、また仕事をする中で色々と学んできました。お客様から教わることも多く、随筆家の岡部伊都子先生や、書家の日比野光鳳先生には随分お世話になり、貴重な勉強をさせていただきました。

また、技術的な面では水上げに最も気を配ります。方法は花の種類によって異なり、水の中で切る、切り口を火で焙る、また金気を嫌う植物は鋏を使わず茎を手で折ります。それぞれの花に最も適した方法を用いて、できるだけ長持ちさせるようにしています。

水上げ以外にも、草花をより美しく見せ保たせる種々の技があります。例えば、笹の葉によく溶かした砂糖水を霧吹きで吹きかけるとツヤが出ます。こんな一種の秘伝のようなものがあって、花屋ごとに独自の方法を持っています。こういうことは昔ながらのやり方が一番優れているのですが、最近は古いやり方を知っている人が少なくなり、また使われなくなりました。

—良い花の見分け方を教えてください

花の茎が太くてしっかりしているものを選んでください。長持ちします。また、例えばカーネーションのような花なら、花びらの付け根が固くしっかりと詰まっているかどうかです。古くなるとそこがスカスカしてきます。

生花はS、M、L、2Lの4段階にランク付けされ、うちどの花も最高級の2Lクラスを仕入れています。需要の多いラン、カトレア、シンビジウムなどは常に質の良いものを多種類在庫で置いています。

—最もやりがいを感じられるときは

お客様に喜んでいただけることが何よりです。料亭に生けたお花をお客様が気に入られ、「どこの花屋さんですか」と聞いておられた、と後になってお店の方から伺ったりしますと大変嬉しいものです。また、自分の思った通りに生け上がった時とても嬉しいものですよ。



法事用のお花の生け込み

—ありがとうございました

学生相談室から

相談するということ

「昨年の大晦日の新聞に、全国学生生活協同組合連合会による大学生活に関するアンケート（約1万人対象）結果が掲載されていた。相談相手についての質問では、「いない」が19・6%で、01年からの6年間で最高で、「知らない」（6・1%）が「ほしい」（5・8%）を上回ったそうだ。

別の私立大学に関する調査でも、同じような結果が出ていた。そこでは、「相談したか、またはしようと思っている相手」の質問があり、ダントツで「友人」が一位で、「家族」「先輩」「いない」「大学関係者」と続く。そして「学生生活は充実している」と答えた人の「相談できる友人がいる」割合は、「充実していない」と答えた人よりもはるかに多いという結果が出ていた。



ここからはあくまで推測だが、最初に挙げた「相談相手がいらない」というのは「相談相手など必要としない」という意味だとも即、言い切れないのではないかとということである。「相談するという体験自体が少ない」「相談するってどうしたらいいかわからない」とか「相談したけどもよかったことが少ない」などということも背景にあるのではないか。「友達には楽しい話や盛り上がる話しかできない空気があって、悩みなんか話したら『ひく』んじゃないか」とか「今まで親や先生に相談したけども、『こ

学生相談室の開室について

場 所	曜 日	学生相談員	開室時間
学生相談室 (博綜館1階)	月曜日	谷口 奈青 神田 敬子	10時30分～16時00分
	火曜日	久保 聡史	10時30分～16時00分
	水曜日	宇佐 晋一 (神経科校医)	13時00分～16時00分 (第2週・第4週)
		神田 敬子	10時30分～16時00分
	木曜日	讓 西賢	10時30分～16時00分
	金曜日	久保 聡史	10時30分～16時00分

うしなさい」と言われるだけで、ちゃんと聞いてもらえなかった」などは、相談室の中ではよく耳にすることである。かといって、わざわざ相談室に行くほどのことなのかという躊躇もおこる。「こんなことで相談室に行つていいのかなあ」と躊躇した場合、そのこと自体を話しに来るのもいいと思う。「相談してみるかどうか」をまず一緒に考えたい。結果、「相談しない、一人でやってみる」というのもありだと思われ、悩みの輪郭をはっきりさせるだけでも、次へと進めることが少なくない。(くぼ さとし)

久保 聡史

「大谷大学広報09-春」発行のお知らせ

「大谷大学広報09-春」の発行を4月に予定しています。さまざまなエッセイや連絡事項などを掲載する予定です。ぜひお読みください。広報は次の場所に置いてありますので、ご自由にお取りください。

- ①博綜館ピロティ（博綜館入口横） ②至誠館（学生支援課カウンター前） ③響流館（図書館、教育研究支援課カウンター）
④学内食堂 ⑤各研究室 ⑥1号館1階 ⑦2号館1階

また、大谷大学ホームページから、バックナンバーを含め広報の閲覧が可能です。

http://www.otani.ac.jp/annai/shuppan/d_kouhou.html

研究室だより

総合研究室から

2009年1月から3月までの総合研究室の開室予定は以下のとおりです。
後期定期試験、卒業式等により開室日や開室時間が変則的になっておりますのでご注意ください。
開室予定に変更のある場合は、ホームページ・学内掲示板でお知らせいたしますのでご確認ください。

◆卒業論文提出期日に関わる時間変更

1月7日(水)～9日(金)
9時開室、20時30分閉室
1月10日(土)
9時開室、17時30分閉室

◆定期試験に関わる時間延長

1月14日(水)～29日(木)までの平日
9時開室、20時30分閉室

◆入試に関わる閉室

1月17日(土)・18日(日)
大学入試センター試験のため閉室
2月7日(土)～10日(火)
一般入試(第1期)のため閉室
3月9日(月)
一般入試(第2期)のため閉室

◆卒業式のため時間短縮

3月18日(水) 9時開室、15時閉室

◆総合研究室図書整理日のため閉室

3月24日(火)

黒字 9時開室、19時30分閉室
黒字 9時開室、20時30分閉室
茶字 10時開室、17時30分閉室
茶字 その他の時間変更
黒字 閉室日

1月	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31

2月	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28

3月	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				

短期仏教科研究室から

- 3月中旬に『仏教研究紀要』第31号の発刊を予定しております。
ご希望の方は、短期仏教科研究室までご連絡ください。

幼児教育保育科研究室から

- 「卒業研究発表会」を1月14日(水)午後4時10分～7時20分(第5・6時限)に開催します。授業の一環として行いますので、第1・2学年とも全員必ず出席してください。会場は2301教室です。詳細については、各ゼミ教員からお知らせします。
- 『大谷大学短期大学部幼児教育保育科研究紀要』第10号を発刊します。幼児教育保育科第2学年には卒業式に、第1学年には進級時のオリエンテーションのときにお渡しします。
- 3月中旬に、今年度の第2学年が提出した「卒業研究」の要旨集を『卒業研究第42号』として発刊します。第2学年には卒業式の日、第1学年には進級時のオリエンテーションのときにお渡しします。
- 現在、幼児教育保育科一般研究室の図書を借りている方は、1月14日(水)までに必ず返却してください。

学会だより

仏教学会

卒業論文梗概発表会 並びに送別懇談会

日時 1月16日(金)16:10～

場所 尋源講堂・ビッグバレー
卒業論文を提出された皆さんに、力作の内容を発表していただきます。終了後、記念撮影をし、送別懇談会を開催します。

哲学会

冬季研究会を開催

詳細が決まり次第お知らせします。



2009年度 自己推薦入試結果

学 部	学 科	募集人員	第1次審査 (書類選考)		第2次審査 (面接)		倍率	合格者得点	
			志願者数	合格者数	受験者数	合格者数		最高点	最低点
文 学 部	真 宗 学 科	10	40 (4)	40 (4)	40 (4)	31 (4)	1.3	137	103
	仏 教 学 科	10	6 (1)	6 (1)	6 (1)	6 (1)	1.0	125	100
	哲 学 学 科	10	24 (10)	24 (10)	23 (10)	15 (10)	1.6	138	114
	社 会 学 科	10	36 (12)	36 (12)	35 (11)	20 (9)	1.8	140	115
	歴 史 学 科	10	53 (15)	53 (15)	52 (15)	22 (11)	2.4	148	118
	文 学 学 科	10	12 (10)	12 (10)	11 (9)	10 (8)	1.2	130	107
	国際文化学科	10	21 (10)	21 (10)	21 (10)	17 (10)	1.2	136	110
	人文情報学科	10	15 (3)	15 (3)	15 (3)	15 (3)	1.0	120	90
	教育・心理学科	10	51 (25)	51 (25)	49 (25)	10 (7)	5.1	125	110
合 計	90	258 (90)	258 (90)	252 (88)	146 (63)	—	—	—	
短期大学部	仏 教 科	10	15 (8)	15 (8)	13 (7)	13 (7)	1.2	134	113
	幼児教育保育科	10	51 (40)	51 (40)	50 (39)	23 (21)	2.2	128	109
	合 計	20	66 (48)	66 (48)	63 (46)	36 (28)	—	—	—
総 計	110	324 (138)	324 (138)	315 (134)	182 (91)	—	—	—	

[注1] ()内数字は女子内数。 [注2] 得点は150点満点。

2009年度 文学部第3学年社会人編入学試験結果

学科	コース	区分	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
真 宗 学 科	真 宗 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1.0
		他大学	1 (0)	1 (0)	1 (0)	
仏 教 学 科	イ ン ド	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	チ ベ ッ ト	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	中 国	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	日 本	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
哲 学 学 科	西 洋 哲 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	倫 理 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	宗 教 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1.0
		他大学	1 (1)	1 (1)	1 (1)	
教 育 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	
	他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
社 会 学 科	現 代 社 会 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	文 化 人 類 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
史 学 学 科	国 史 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	日本仏教史学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	東 洋 史 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	東洋仏教史学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
文 学 学 科	国 文 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	中 国 文 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	英 文 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	ド イ ツ 文 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
国際文化学科	国際文化学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
合 計		本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	2 (1)	2 (1)	2 (1)	
	計	2 (1)	2 (1)	2 (1)		

[注1] ()内数字は女子内数。

2009年度 大学院秋季試験(修士課程)結果

課程	専攻	募集人員	区分	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
修士課程	真宗学	定員(20)の50%程度	本学	16 (1)	16 (1)	10 (1)	1.4
			他大学	4 (0)	4 (0)	4 (0)	
	仏教学	定員(20)の50%程度	本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1.0
			他大学	3 (0)	3 (0)	3 (0)	
	哲学	定員(10)の50%程度	本学	6 (2)	6 (2)	3 (2)	2.0
			他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	社会学	定員(10)の50%程度	本学	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1.0
			他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	仏教文化	定員(20)の50%程度	本学	4 (1)	4 (1)	3 (1)	1.3
			他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	国際文化	定員(10)の50%程度	本学	1 (1)	1 (1)	0 (0)	—
			他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
合計	定員(90)の50%程度	本学	28 (5)	28 (5)	17 (4)	—	
		他大学	7 (0)	7 (0)	7 (0)		
		計	35 (5)	35 (5)	24 (4)		

[注] ()内数字は女子内数。

2009年度 大学院社会人入試(修士課程)結果

課程	専攻	募集人員	区分	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
修士課程	真宗学	若干名	本学	1 (0)	1 (0)	0 (0)	3.0
			他大学	2 (0)	2 (0)	1 (0)	
	仏教学		本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1.0
			他大学	2 (0)	2 (0)	2 (0)	
	哲学		本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
			他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	社会学		本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1.0
			他大学	1 (0)	1 (0)	1 (0)	
	仏教文化		本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
			他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	国際文化		本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
			他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
合計		本学	1 (0)	1 (0)	0 (0)	—	
		他大学	5 (0)	5 (0)	4 (0)		
		計	6 (0)	6 (0)	4 (0)		

[注] ()内数字は女子内数。

2009年度 公募制推薦入試結果

学部	方式	学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	合格者得点	
								最高点	最低点
文学部	A方式	真宗学科	10	12 (2)	12 (2)	12 (2)	1.0	135	80
		仏教学科	8	15 (2)	15 (2)	15 (2)	1.0	135	68
		哲学科	8	27 (7)	27 (7)	15 (6)	1.8	123	101
		社会学科	10	43 (14)	43 (14)	16 (7)	2.7	123	105
		歴史学科	10	23 (6)	22 (6)	11 (4)	2.0	122	94
		文学科	10	25 (12)	25 (12)	11 (6)	2.3	124	112
		国際文化学科	10	22 (8)	22 (8)	15 (7)	1.5	124	91
		人文情報学科	10	21 (9)	21 (9)	16 (8)	1.3	117	90
	教育・心理学科	10	61 (23)	59 (23)	11 (8)	5.4	125	110	
	合計	86	249 (83)	246 (83)	122 (50)	—	—	—	
	B方式	真宗学科	10	12 (3)	12 (3)	12 (3)	1.0	111	69
		仏教学科	8	14 (4)	14 (4)	14 (4)	1.0	119	80
		哲学科	8	62 (16)	62 (16)	34 (10)	1.8	130	103
		社会学科	10	145 (39)	144 (38)	37 (11)	3.9	125	104
		歴史学科	10	100 (20)	98 (20)	31 (7)	3.2	128	108
		文学科	10	97 (51)	97 (51)	35 (23)	2.8	132	108
国際文化学科		10	85 (37)	85 (37)	72 (32)	1.2	129	81	
人文情報学科		10	51 (18)	51 (18)	50 (18)	1.0	124	71	
教育・心理学科	10	138 (63)	134 (61)	15 (7)	8.9	130	116		
合計	86	704 (251)	697 (248)	300 (115)	—	—	—		
文学部合計			172	953 (334)	943 (331)	422 (165)	—	—	—
短期大学部	A方式	仏教科	5	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	—
		幼児教育保育科	10	18 (12)	18 (12)	10 (9)	1.8	127	95
		合計	15	18 (12)	18 (12)	10 (9)	—	—	—
	B方式	仏教科	5	5 (2)	5 (2)	5 (2)	1.0	119	63
		幼児教育保育科	10	55 (44)	55 (44)	13 (13)	4.2	130	110
合計	15	60 (46)	60 (46)	18 (15)	—	—	—		
短期大学部合計			30	78 (58)	78 (58)	28 (24)	—	—	—
総計			202	1,031 (392)	1,021 (389)	450 (189)	—	—	—

[注1] ()内数字は女子内数。

[注2] 得点は150点満点。

大谷中学・高等学校からのお知らせ

★大谷中学校・高等学校の二学期の主な取り組み(結果)をお知らせします。

◆中学校演劇コンクール結果(大谷中学校最大の催物)

— 9月12日・13日実施

例年通り、各クラスは6月中旬より取り組みをはじめ、それぞれ工夫し練習に励んでいましたが、最優秀賞を得たクラスは、下記のクラスでした。なお、最優秀賞を獲得したクラスは9月27日(土)に実施された中学・高校オープンキャンパスで来校者に対し再演してもらい、中学校のアピールに一役かかってもらいました。

最優秀賞——Ⅲ年3組『ホームレス中学生』

◆高校学園祭(大谷高等学校最大の催物)

— 9月14日(日)実施

高校の最大の催物は学園祭で、生徒会は5月にテーマを決め、各クラスは6月初めよりテーマに沿った出し物を決めて準備をし、本番の日を迎えています。各クラスの催物は毎年レベルアップしていて、見栄えのするものでしたが、残念ながら入場者数が約3,000名と、例年より若干減少しました。少子化の影響で在校生の数も減っているため、入場者の数も減ったと思われます。

◆中学・高校オープンキャンパス、学校説明会

9月27日(土)——中学・高校同時開催(同時開催は初めての試み)
 中学の部——104組 来校
 高校の部——529名 来校
 11月15日(土)——中学、学校説明会
 来校者——96組(約230名)

◆系列校宗教科担当者研究集会開催

10月2・3・4日の3日間、系列校の宗教教育を担当している先生方が本校に集合され、講演や研究授業を通して、互いに宗教教育のスキルアップをめざし、研鑽を積み重ねました。来校された先生方の中に、本校出身者や本校で教鞭をとっておられた方が数多くおられ、本校教員と旧交を温めておられる先生もおられました。

参加校数——19校(33名出席)

基調講演——中川皓三郎(帯広大谷短期大学学長)

『ほんとうに生きるということ』

—親鸞の生涯と教えに学ぶ—

◆大谷中学3年生、乳幼児保育体験学習

—10月15日(水)の3・4時限に実施

例年中学3年生は、家庭科授業の中で乳幼児と触れ合って、子育ての楽しさと、子育ての難しさを少しでも知ってもらおうという試みがなされてきていましたが、今年も10月15日の午前中に、桃山児童館から乳幼児30組を招き、3年生全員に保育を体験してもらいました。昨

年同様、最初の1時間は生徒たちは赤ちゃんに対してはこわごわ触ったり、あやし方が分からずとまどっていましたが、次の時間からは少しコツがわかってきたようで、楽しそうに過ごしていました。子育ての大変さを十分理解したと言えますが、少しは理解し、家に帰ってからの両親への対応も変化が見られたかもしれません。

◆京都府私立中学・高等学校教育研究大会、今年は本校で開催

— 10月19日(日)開催

『特色と魅力に溢れる私学教育を目指して』という表題をかかげて、京都府の私学の先生方が本校に集合されました。午前中は、作家の曾野綾子氏が『思考する教育』というテーマで講演され、午後からは12の分科会に分かれて講演・質疑応答がなされ、中身の濃い催しとなりました。

◆中学生全員・高校1年生対象人権教育

— 11月1日(土)午前中実施

身障者の人々に対する偏見防止のために、本年度は少し大がかりな人権教育を実施しようと企画して、身障者バスケットボールの京都のアップスを中心としたチームをいくつか招きました。新体育館では高校1年生に練習を公開し、続いて生徒たちに車椅子操作を体験してもらい、さらに車椅子バスケットボールも挑戦してもらいました。同じことを旧体育館で中学生にも公開・体験してもらいました。カクテルというチームの中に4年前のアテネのパラリンピックバスケットボールに日本代表選手として活躍された女性選手もおられ、そのプレーを見た生徒たちは、しばし圧倒されていましたが、そのうち、下半身が不自由にもかかわらず運動に打ち込み、前向きに生きておられる姿を見て、深く感銘を受けたようです。(写真はその時の様子です)



◆高校1年生対象の進路体験デー開催

一学期は高校2年生対象の進路体験デーが実施されましたが、11月15日(土)の午前中に高校1年生対象の進路体験デーが開催され、生徒たちは18大学・8専門学校の講師の方々のお話を聞いたり映像を見たりしました。進路指導部や担任の先生方が、生徒たちが将来の自分の進路を見いだせる機会になってくれるように願って企画されたものです。

九州大谷短期大学からのお知らせ

◆2009年度一般・社会人入試日程

	出願期間	試験日
一般入試A 社会人4次 社会人特別Ⅳ期 長期履修Ⅳ期	1月21日(水) 1月29日(水)	2月3日(火)
一般入試B 社会人5次 社会人特別Ⅴ期 長期履修Ⅴ期	2月18日(水) 2月26日(水)	
一般入試C 社会人6次 社会人特別Ⅵ期 長期履修Ⅵ期	3月13日(金) 3月24日(火)	3月26日(木)

※専攻科福祉専攻入試もごさいます。

※長期履修学生制度については広報室までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ 九州大谷短期大学広報室 (TEL 0942-53-9900)

◆「大谷派教師資格試験検定」準備学習会のご案内

大谷派教師資格試験検定受検のために
 真宗の教えを基礎から系統的に学ぶために

1. 会場/本学生涯学習センター
2. 開設期間/2月17日(火)~2月26日(水) ※21日(土)・22日(日)は休講
3. 講義科目/①真宗学 ②仏教学 ③教化学 ④声明作法 ⑤法規
4. 受講希望受付/1月23日(金)まで
5. 受講手続期限/1月30日(金)まで

事前に申込み連絡をしていただいた上での願書提出・受講料納付の期限となっております。

お問い合わせ 九州大谷短期大学総務課 (TEL 0942-53-9900)

2008年度 後期 生涯学習講座案内

大谷大学では様々な教養を身につけたい方に、本学の知的資産をベースとした生涯学習講座を開講しています。本学ならではの宗教・信仰を求めていく講座、現代社会をいかに生きるのかをテーマとする講座、京都の文化の奥深さを知る講座など、切り口は多様ですが、共通するテーマは「人間」です。大谷大学の生涯学習講座にご期待ください。

生涯学習講座案内 http://www.otani.ac.jp/syakaijin/syakaijin/syougai_g/index.html

開 放 セ ミ ナ ー

○大乘仏教のあゆみ —親鸞の眼を通して—

<協賛：NPO法人尋源舎>

—概要—

2011年の宗祖親鸞聖人750回御遠忌を記念した開放セミナー「大乘仏教のあゆみ—親鸞の眼を通して—」を開講します。

親鸞の『正信偈』や『高僧和讃』にでてくる七高僧（龍樹・天親・曇鸞・道綽・善導・源信・法然）はどんな人たちだったのでしょうか。親鸞はまた、仏教が日本に伝わるはじまりに聖徳太子を置き「和国の教主」として称えています。

本講座は、仏教がインドで生まれ中国を経て日本に伝わり、さらなる展開を遂げていく様子を、真宗学・仏教学・歴史学の各分野の視点から学ぶものです。

学長による総論（2007年度後期）によってスタートし、龍樹・天親・曇鸞・道綽・善導・源信・法然・聖徳太子（2010年度前期）の“人と思想”をテーマにして本学教員がリレー講義を行い、親鸞の眼を通じた大乘仏教のあゆみを明らかにしていきます。

■開放セミナー「大乘仏教のあゆみ」は、NPO法人尋源舎の協賛を得て、開催いたします。

—開講計画— （※は終了しました）

	前期 5～7月	後期 10～12月	冬期 2月～3月
2007年度		①総論（3回）※	②龍樹（6回）※
2008年度	③天親（6回）※	④曇鸞（6回）※	⑤道綽（6回）
2009年度	⑥善導（6回）	⑦源信（6回）	⑧法然（6回）
2010年度	⑨聖徳太子（6回）		

○大乘仏教のあゆみ —親鸞の眼を通して—⑤ 「末法に生きる—道綽—」

—概要—

道綽は、北齊の河清元（562）年に山西省太原の近くで生まれました。16歳の時に、新しい支配者北周武帝によって実施された厳しい廃仏政策を経験します。人々は、その救いの見いだせない時代のありさまを「末法」と呼びました。

大業5（609）年、48歳の道綽は玄中寺を訪れます。曇鸞の碑文を目にした道綽は強い衝撃を受け、玄中寺に移り住みます。そこで曇鸞の教えを深く学びながら念仏生活に身を投じていきました。その姿を、親鸞聖人は次のように和讃でよんでいます。

鸞師のおしえをうけつたえ 綽和尚はもろともに

在此起心立行は 此是自力とさだめたり（『高僧和讃』）

道綽は、生涯に『観無量寿経』を200回近く説き、その教えを明らかに示すものとして『安楽集』を残しました。さらに道綽は日に七万遍の念仏を称えたといわれています。

道綽によって、浄土の教えが現代にまで伝えられることとなったのです。

この講座では、道綽が生きた時代に留意しながら、その生涯と思想を学び、親鸞の思想との関わりを考えてみたいと思います。

—講座内容—

- (1) 道綽の時代と社会① —6～7世紀の時代と社会—
- (2) 道綽の時代と社会② —中国仏教史上の道綽—
- (3) 道綽の思想① —末法思想—
- (4) 道綽の思想② —『安楽集』—
- (5) 親鸞と道綽① —聖道・浄土—
- (6) 親鸞と道綽② —専称の勧め—

講 師 大内 文雄 (大谷大学教授)
藤嶽 明信 (大谷大学教授)
采翠 晃 (大谷大学講師)

定 員 100名
会 場 メディアホール
受講料 6,000円 (税込)

開講日 2009年2月4日・18日・25日・
3月4日・11日・25日 (水曜日)

申込締切 2009年1月28日(水) 当日消印有効

時 間 18:00～19:30

紫 明 講 座

○「明治維新史のひとこま」

—概要—

平野五岳(1809-1893)は豊後日田の人、真宗大谷派専念寺の住職であった。詩・書・画にすぐれて三絶僧と称され、地元では「五岳上人さま」と呼ばれて今も尊敬と人気を集めている。

五岳の生涯は東本願寺苦難の時代と一致する。謎の多いことでも知られる三絶僧のその謎を解き明かす過程で、明治新政府と東本願寺との関係が見えてくる。新発見の西郷隆盛肖像画は、南洲像に対する従来の印象を変えると同時に、その裏面に隠れた東本願寺の苦境をも垣間見せる。

五岳書画の映像を見ながら、多くには知られない明治維新史を考える。

—講座内容—

- (1) 平野五岳という謎の詩僧を知っていますか
- (2) 新発見の西郷隆盛肖像画を知っていますか
- (3) 明治新政府への東本願寺の貢献を知っていますか

講 師 河内 昭圓 (大谷大学名誉教授)
開講日 2009年2月19日・26日・3月5日(木)
時 間 18:00～19:30
定 員 100名

会 場 メディアホール
受講料 3,000円
申込締切 2009年2月12日(木)

詳細なパンフレットをご希望の方は、下記までお問合せください。
また受講申し込みの際には、ハガキ、FAX、Eメールいずれかにて、
①講座名 ②氏名・フリガナ ③郵便番号・住所 ④電話番号を明記してください。

— 連 絡 先 —

教育研究支援課KO係
TEL: 075-411-8161 FAX: 075-411-8162 E-mail: opensemi@sec.otani.ac.jp

※講座名、日程、受講料など変更になる場合があります。その旨ご了承くださいますようお願いいたします。

2009 年度学年暦

【前期】							【後期】													
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	行事予定等						
		30	31	1	2	3	4					1	2	3	4月 1日(水) } ◇学年始 ◇宗祖誕生日 ◇入学式					
	5	6	7	8	9	10	11		4	5	6	7	8	9	10	3月 30日(月) } ◇オリエンテーション(若葉祭を含む) 4月 6日(月) } ◇前期授業開始 7日(火) } ◇積尊降誕日				
4月	12	13	14	15	16	17	18		10	11	12	13	14	15	16	17	8日(水) } ◇聴講登録票提出期間[~15日(水)] 13日(月) } ◇前期学費納入最終日 20日(月) } ◇宗祖御命日勤行・講話 28日(火) } ◇昭和の日=授業実施			
	19	20	21	22	23	24	25		18	19	20	21	22	23	24	29日(水) } ◇聴講登録確認票配付 30日(木) } ◇聴講登録確認期間				
	26	27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31	11月 2日(月) } ◇「卒業研究」提出最終日 (仏教科・文化学科) 3日(火) } ◇文化の日 13日(金) } ◇学園祭期間(予定) 16日(月) } ◇勤労感謝の日=授業実施				
					1	2		1	2	3	4	5	6	7	23日(月) } ◇大学報恩講(午後授業実施) 27日(金) } ◇宗祖御正忌 28日(土) } ◇「卒業研究」提出最終日 (幼児教育保育科)					
	3	4	5	6	7	8	9		8	9	10	11	12	13	14	5月 3日(日) } ◇憲法記念日 4日(月) } ◇みどりの日 5日(火) } ◇こどもの日 6日(水) } ◇振替休日				
5月	10	11	12	13	14	15	16		11	15	16	17	18	19	20	21	23日(土) } ◇補講日			
	17	18	19	20	21	22	23		22	23	24	25	26	27	28	29	30	25日(月) } ◇履修辞退期間 29日(金) } ◇宗祖御命日勤行・講話 28日(木) } ◇宗祖誕生会		
	24	25	26	27	28	29	30		29	30							6月 1日(月) } ◇「研究計画書」提出最終日 (修士・博士後期課程第1学年)			
	31										1	2	3	4	5	13日(土) } ◇補講日 26日(金) } ◇宗祖御命日勤行・講話 27日(土) } ◇補講日				
		1	2	3	4	5	6		6	7	8	9	10	11	12	30日(火) } ◇「卒業論文・修士論文・卒業研究」 提出最終日(前期卒業・修了予定者) ◇「卒業論文・修士論文・卒業研究題目届」 提出最終日(明年3月卒業・修了予定者)				
	7	8	9	10	11	12	13		12	13	14	15	16	17	18	19	7月 11日(土) } ◇補講日			
	14	15	16	17	18	19	20		20	21	22	23	24	25	26	20日(月) } ◇海の日=授業実施 22日(水) } ◇前期定期試験				
	21	22	23	24	25	26	27		27	28	29	30	31				7月 31日(金) } ◇宗祖御命日勤行 7月 28日(火) } ◇宗祖御命日勤行			
	28	29	30														8月 1日(土) } ◇夏期休暇			
			1	2	3	4											9月 17日(木) } ◇集中講義期間 8月 31日(月) } ◇集中講義期間 9月 11日(金) } ◇後期授業開始 18日(金) } ◇前期履修単位通知書配付			
																	21日(月) } ◇敬老の日=授業実施 22日(火) } ◇国民の休日=授業実施			
																	23日(水) } ◇秋分の日 24日(木) } ◇宗祖御命日勤行・講話			
																	28日(月) } ◇登録修正期間 30日(水) } ◇前期卒業証書・学位記授与式			
																	30日(水) } ◇前期終了 ◇後期学費納入最終日			
																	10月 8日(木) } ◇聴講登録確認票配付 12日(月) } ◇修正登録確認期間 12日(月) } ◇体育の日=授業実施 13日(火) } ◇開学記念日 24日(土) } ◇補講日			
																	26日(月) } ◇履修辞退期間 30日(金) } ◇宗祖御命日勤行・講話			
																	11月 2日(月) } ◇「卒業研究」提出最終日 (仏教科・文化学科) 3日(火) } ◇文化の日 13日(金) } ◇学園祭期間(予定) 16日(月) } ◇勤労感謝の日=授業実施			
																	23日(月) } ◇大学報恩講(午後授業実施) 27日(金) } ◇宗祖御正忌 28日(土) } ◇「卒業研究」提出最終日 (幼児教育保育科)			
																	5月 3日(日) } ◇憲法記念日 4日(月) } ◇みどりの日 5日(火) } ◇こどもの日 6日(水) } ◇振替休日			
																	23日(土) } ◇補講日			
																	25日(月) } ◇履修辞退期間 29日(金) } ◇宗祖御命日勤行・講話 28日(木) } ◇宗祖誕生会			
																	6月 1日(月) } ◇「研究計画書」提出最終日 (修士・博士後期課程第1学年)			
																	13日(土) } ◇補講日 26日(金) } ◇宗祖御命日勤行・講話 27日(土) } ◇補講日			
																	30日(火) } ◇「卒業論文・修士論文・卒業研究」 提出最終日(前期卒業・修了予定者) ◇「卒業論文・修士論文・卒業研究題目届」 提出最終日(明年3月卒業・修了予定者)			
																	7月 11日(土) } ◇補講日			
																	20日(月) } ◇海の日=授業実施 22日(水) } ◇前期定期試験			
																	7月 31日(金) } ◇宗祖御命日勤行 7月 28日(火) } ◇宗祖御命日勤行			
																	8月 1日(土) } ◇夏期休暇			
																	9月 17日(木) } ◇集中講義期間 8月 31日(月) } ◇集中講義期間 9月 11日(金) } ◇後期授業開始 18日(金) } ◇前期履修単位通知書配付			
																	21日(月) } ◇敬老の日=授業実施 22日(火) } ◇国民の休日=授業実施			
																	23日(水) } ◇秋分の日 24日(木) } ◇宗祖御命日勤行・講話			
																	28日(月) } ◇登録修正期間 30日(水) } ◇前期卒業証書・学位記授与式			
																	30日(水) } ◇前期終了 ◇後期学費納入最終日			
																	10月 8日(木) } ◇聴講登録確認票配付 12日(月) } ◇修正登録確認期間 12日(月) } ◇体育の日=授業実施 13日(火) } ◇開学記念日 24日(土) } ◇補講日			
																	26日(月) } ◇履修辞退期間 30日(金) } ◇宗祖御命日勤行・講話			
																	11月 2日(月) } ◇「卒業研究」提出最終日 (仏教科・文化学科) 3日(火) } ◇文化の日 13日(金) } ◇学園祭期間(予定) 16日(月) } ◇勤労感謝の日=授業実施			
																	23日(月) } ◇大学報恩講(午後授業実施) 27日(金) } ◇宗祖御正忌 28日(土) } ◇「卒業研究」提出最終日 (幼児教育保育科)			
																	5月 3日(日) } ◇憲法記念日 4日(月) } ◇みどりの日 5日(火) } ◇こどもの日 6日(水) } ◇振替休日			
																	23日(土) } ◇補講日			
																	25日(月) } ◇履修辞退期間 29日(金) } ◇宗祖御命日勤行・講話 28日(木) } ◇宗祖誕生会			
																	6月 1日(月) } ◇「研究計画書」提出最終日 (修士・博士後期課程第1学年)			
																	13日(土) } ◇補講日 26日(金) } ◇宗祖御命日勤行・講話 27日(土) } ◇補講日			
																	30日(火) } ◇「卒業論文・修士論文・卒業研究」 提出最終日(前期卒業・修了予定者) ◇「卒業論文・修士論文・卒業研究題目届」 提出最終日(明年3月卒業・修了予定者)			
																	7月 11日(土) } ◇補講日			
																	20日(月) } ◇海の日=授業実施 22日(水) } ◇前期定期試験			
																	7月 31日(金) } ◇宗祖御命日勤行 7月 28日(火) } ◇宗祖御命日勤行			
																	8月 1日(土) } ◇夏期休暇			
																	9月 17日(木) } ◇集中講義期間 8月 31日(月) } ◇集中講義期間 9月 11日(金) } ◇後期授業開始 18日(金) } ◇前期履修単位通知書配付			
																	21日(月) } ◇敬老の日=授業実施 22日(火) } ◇国民の休日=授業実施			
																	23日(水) } ◇秋分の日 24日(木) } ◇宗祖御命日勤行・講話			
																	28日(月) } ◇登録修正期間 30日(水) } ◇前期卒業証書・学位記授与式			
																	30日(水) } ◇前期終了 ◇後期学費納入最終日			
																	10月 8日(木) } ◇聴講登録確認票配付 12日(月) } ◇修正登録確認期間 12日(月) } ◇体育の日=授業実施 13日(火) } ◇開学記念日 24日(土) } ◇補講日			
																	26日(月) } ◇履修辞退期間 30日(金) } ◇宗祖御命日勤行・講話			
																	11月 2日(月) } ◇「卒業研究」提出最終日 (仏教科・文化学科) 3日(火) } ◇文化の日 13日(金) } ◇学園祭期間(予定) 16日(月) } ◇勤労感謝の日=授業実施			
																	23日(月) } ◇大学報恩講(午後授業実施) 27日(金) } ◇宗祖御正忌 28日(土) } ◇「卒業研究」提出最終日 (幼児教育保育科)			
																	5月 3日(日) } ◇憲法記念日 4日(月) } ◇みどりの日 5日(火) } ◇こどもの日 6日(水) } ◇振替休日			
																	23日(土) } ◇補講日			
																	25日(月) } ◇履修辞退期間 29日(金) } ◇宗祖御命日勤行・講話 28日(木) } ◇宗祖誕生会			
																	6月 1日(月) } ◇「研究計画書」提出最終日 (修士・博士後期課程第1学年)			
																	13日(土) } ◇補講日 26日(金) } ◇宗祖御命日勤行・講話 27日(土) } ◇補講日			
																	30日(火) } ◇「卒業論文・修士論文・卒業研究」 提出最終日(前期卒業・修了予定者) ◇「卒業論文・修士論文・卒業研究題目届」 提出最終日(明年3月卒業・修了予定者)			
																	7月 11日(土) } ◇補講日			
																	20日(月) } ◇海の日=授業実施 22日(水) } ◇前期定期試験			
																	7月 31日(金) } ◇宗祖御命日勤行 7月 28日(火) } ◇宗祖御命日勤行			
																	8月 1日(土) } ◇夏期休暇			
																	9月 17日(木) } ◇集中講義期間 8月 31日(月) } ◇集中講義期間 9月 11日(金) } ◇後期授業開始 18日(金) } ◇前期履修単位通知書配付			
																	21日(月) } ◇敬老の日=授業実施 22日(火) } ◇国民の休日=授業実施			
																	23日(水) } ◇秋分の日 24日(木) } ◇宗祖御命日勤行・講話			
																	28日(月) } ◇登録修正期間 30日(水) } ◇前期卒業証書・学位記授与式			
																	30日(水) } ◇前期終了 ◇後期学費納入最終日			
																	10月 8日(木) } ◇聴講登録確認票配付 12日(月) } ◇修正登録確認期間 12日(月) } ◇体育の日=授業実施 13日(火) } ◇開学記念日 24日(土) } ◇補講日			
																	26日(月) } ◇履修辞退期間 30日(金) } ◇宗祖御命日勤行・講話			
																	11月 2日(月) } ◇「卒業研究」提出最終日 (仏教科・文化学科) 3日(火) } ◇文化の日 13日(金) } ◇学園祭期間(予定) 16日(月) } ◇勤労感謝の日=授業実施			
																	23日(月) } ◇大学報恩講(午後授業実施) 27日(金) } ◇宗祖御正忌 28日(土) } ◇「卒業研究」提出最終日 (幼児教育保育科)			
																	5月 3日(日) } ◇憲法記念日 4日(月) } ◇みどりの日 5日(火) } ◇こどもの日 6日(水) } ◇振替休日			
																	23日(土) } ◇補講日			
																	25日(月) } ◇履修辞退期間 29日(金) } ◇宗祖御命日勤行・講話 28日(木) } ◇宗祖誕生会			
																	6月 1日(月) } ◇「研究計画書」提出最終日 (修士・博士後期課程第1学年)			
																	13日(土) } ◇補講日 26日(金) } ◇宗祖御命日勤行・講話 27日(土) } ◇補講日			
																	30日(火) } ◇「卒業論文・修士論文・卒業研究」 提出最終日(前期卒業・修了予定者) ◇「卒業論文・修士論文・卒業研究題目届」 提出最終日(明年3月卒業・修了予定者)			
																	7月 11日(土) } ◇補講日			
																	20日(月) } ◇海の日=授業実施 22日(水) } ◇前期定期試験			
																	7月 31日(金) } ◇宗祖御命日勤行 7月 28日(火) } ◇宗祖御命日勤行			
																	8月 1日(土) } ◇夏期休暇			
																	9月 17日(木) } ◇集中講義期間 8月 31日(月) } ◇集中講義期間 9月 11日(金) } ◇後期授業開始 18日(金) } ◇前期履修単位通知書配付			
																	21日(月) } ◇敬老の日=授業実施 22日(火) } ◇国民の休日=授業実施			
																	23日(水) } ◇秋分の日 24日(木) } ◇宗祖御命日勤行・講話			

大谷大学勤続35年、定年退職の年65歳になって、ようやく寺の住職を継承したが、いろんな席でお話する機会がふえた。ハナシの枕にするのは「人生の坂は3つある」という譬えである。つまり、上り坂と下り坂とまさか（魔坂と充てることにしたい）である。いうまでもなく学生諸君は上り坂だが、私など高齢者は下り坂だ。さらに、老若関係なく存在する坂がまさかだ。「まさか私が振り込め詐欺に遭うなんて」「まさか自分が交通事故に遭うなんて」など、私だけは大丈夫と信じていても、突然の被害に遭うことは非常に多い。絶対に私は大丈夫だと過信している人

がまさかの被害に遭うと、恥ずかしげもなく、泣いたり・喚いたりして、右往左往する。そんなケースは世間でよく見られる。

たいていの者は、勝手に自分だけは安全だと思いこんでいるが、安全という保障は全くない。それどころか、過信の裏には不安がある。私の地域・界では、家原寺（知恵の文殊さん）に受験の時期になると、大勢の受験生やその家族が合格を祈願して参詣する。また、車を運転する人は、交通安全を祈願して成田不動尊にお参りし、商いする人は、新年（1月10日）に商売繁盛を祈願して今宮戎にお参りする。——いうまで

もないが、合格祈願した者が必ず受験に成功するか、交通安全祈願した者が絶対に事故に遭わないか、商売繁盛祈願した者が損せず儲かるか、全く保障はない。

結局、人間のさまざまな欲望により、縁結びの神・縁切りの神・安産の神・魔よけの神などに、あれこれと祈願するのである。驚いたことに、元気なうちに誰の世話にもならずポッキリ死にたいという願いから、俗称ポッキリ寺までであるという。ポッキリ死にたいと願う人たちが観光バスでポッキリ寺に参詣し、その帰り道、衝突事故で大怪我をするという災難に遭い、参詣人たちは、なんと

話題の広場 SQUARE

自分だけは大丈夫？ —まさか（魔坂）に遭遇した場合—

石橋 義秀



絵 内山智廣

まあ——「もう少しでポッキリ死ぬとこやった。ポッキリ寺はもうコリゴリや」と、愚痴をこぼし合ったという笑うに笑えない話を耳にする。

ひとびとは自分の欲望を満足させるため寺社に参詣し、祈願し、願い通りになれば、ご利益のある神・仏だ、願いが適わなければ、ご利益のない神・仏だと、自分勝手に決め込む。しっかりした信仰がない人の、困った時の神・仏頼み現象といえよう。

話は変わるが、最近、特に偽装事件が多い。あんな大会社が外国産商品を日本産と偽って売り、法外に儲けようと企む。老舗が誇りを捨てて、社長みずから不正を行い、荒稼ぎする。そんな悪徳事件が次々に新聞紙上を賑わす。本来、正直をモットー

としていた日本企業が目先の利益だけを追求する。実に情けないことだ。偽装事件があまりに多すぎて、どの製品を買えばいいのか、何を食べたら安全なのか、何も信用できない。大変な世の中になった。

今に始まったことではないが、この世は万事カネであるという風潮が強い。損か・得か、勝ったか・負けたか、など相対的な価値判断だけがまかり通る。損・得という価値基準に立つと、例えば、昨日はパチンコで儲けたが、逆に今日は競馬で散財するという具合に、日々浮き沈みが激しい。得をした時は有頂天になるが、損をした時はうろたえ落ち込むという一喜一憂の悲しい人生である。

損か・得か、という物差しから、ウソか・マコトか、という物差しに、

頭を切り替えよう。とは言っても、真・偽を見極める目を養うのは一朝一夕ではいかない。でも、幸いにして大谷大学は、仏教を基礎にした人間学Ⅰ・Ⅱという授業が必須になっている。その授業では、世間の損・得という物差しを捨てて、真実を知る仏の教えを伝えてくださる。どうぞ大谷大学独自の授業・人間学をしっかり聴講して、真・偽を見極める目を養い、在学中に、自分を過信することなく、いたずらに卑下することもなく、人間らしく生きるという習慣を身につけていただきたい。

（いしばし ぎしゅう）
教授 国文学